

NEC

iStorage

iStorage HS3-60

NF7158-SBT600/601/602

NF7158-SBT610/611/612

NF7158-SBT620/621/622

NF7158-SBT630/631/632

NF7158-SBT640/641/642

NF7158-SBT600A/601A/602A

NF7158-SBT610A/611A/612A

NF7158-SBT620A/621A/622A

NF7158-SBT630A/631A/632A

NF7158-SBT640A/641A/642A

**バックアップストレージ製品
取扱説明書**

2026 年 8 月 第 2 版
CBZ-054420-001-01



CBZ-054420-001-01

商標について

＊ Microsoft、Windows、Windows Server、Microsoft Edgeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

海外でご使用になる場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は、輸出貿易管理令に定める輸出規制品に該当致しますので、日本国外へ持ち出す際には日本国政府の輸出許可申請等必要な手続きをお取りください。許可手続き等にあたり特別な資料等が必要な場合には、お買い上げの販売窓口またはお近くの当社営業拠点にご相談ください。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI－A

本製品は、落雷等による電源の瞬時低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流基準 JIS C 61000-3-2
に適合しています

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売窓口にご連絡ください。
- (4) 本書はお読みにになったあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
- (5) 本製品を第三者に譲渡する際には、必ず本書を添付して譲渡してください。
- (6) 当社では、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (7) 人命や高度な信頼性を必要とする業務には使用しないでください。
本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、人身事故、財産損害が生じても当社はいかなる責任も負いかねます。
- (8) 不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
- (9) パスワード等により、適切にアクセス管理してください。

© NEC Corporation 2026

この取扱説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 ～必ずお読みください～

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本取扱説明書にはどこが危険か、どのような危険に遭うのか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。本取扱説明書、および警告ラベルでは危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。



人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例) (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例) (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例) (プラグを抜け)

(本取扱説明書での表示例)

注意を促す記号

危険の程度を表す用語

危険に対する注意の内容

指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	

本書及び警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	複数の受電があることを示します。		

行為の禁止

	本機を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所以外には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明をご参照ください。

記載の内容を守らずに製品を使用した場合、誤動作だけでなく、けがや発煙、火災等、意図しない安全上の問題が発生する原因になります。本製品をご使用になる前に、必ずお読みください。

全般的な注意事項

 警告	
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任を負いかねます。
 	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合には、ただちに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
 	針金や金属片を差し込まない 通気孔や USB-DVD ドライブのすきまなどから、金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険性があります。
 	EIA 規格以外のラックで使用しない 本製品は EIA 規格に適合した 19 型(インチ)標準ラックに取り付けて使用します。 EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用したり、ラックに取り付けずに使用したりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりか、ケガや周囲の破損の原因となることがあります。本製品で利用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。
 	指定以外の場所で使用しない 本製品の設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付のマニュアルを参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。

 注意



添付の電源コードは海外で使用しない

添付電源コードは、日本国内専用です。海外では使用できません。この製品を海外で使用すると火災や感電の原因になります。



製品内に水や異物を入れない

製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐに電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社に連絡ください。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

 注意	
 	一人で搬送・設置をしない ラックの搬送・設置は 2 人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因になります。特に高さのあるラック(44U ラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。必ず 2 人以上でラックを支えながら搬送・設置してください。
 	荷重が集中してしまうような設置はしない ラックおよび取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
 	一人で部品の取り付けをしない ラック用のドアやレールなどの部品は 2 人以上で取り付けてください。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりではなく、けがをするおそれがあります。
 	ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
 	複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない 複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は一度に一台ずつ引き出してください。
 	定格電源を越える配線をしない やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の配線とインストール用件に関しては、電源工事を行った業者または、管轄の電力会社にお問い合わせください。

電源・電源コードに関する注意事項

 警告	
   	ぬれた手で電源プラグを持たない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。 アース線をガス管につながない アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。

⚠ 注意



指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本機の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部に埃がたまり、水滴などが付くと発熱して火災の原因となるおそれがあります。



指定された電源コード以外を使わない

本製品に指定された電源コード以外のものを使わないでください。電源コードに規格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

添付品の電源ケーブル以外の指定品は以下になります。

NF9100-SP21 電源ケーブル(2m)x2 (プラグ形状 IEC320-C14)

NF9100-SP22 電源ケーブル(3m)x2 (プラグ形状 IEC320-C14)

NF9100-SP31 電源ケーブル(5m)x2 (プラグ形状 NEMA5-15P)

指定以外の電源コードの使用に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。

電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のような行為を行わないでください・コード部分を引っ張らない。

- ・ 電源コードを折り曲げない。
- ・ 電源コードをねじらない。
- ・ 電源コードを束ねない。
- ・ 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- ・ 電源コードをはさまない。
- ・ 電源コードに薬品類をかけない。
- ・ 電源コードにものを載せない。
- ・ 電源コードを改造・加工・修復しない。
- ・ 損傷した電源コードを使わない。

(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください)。

注意



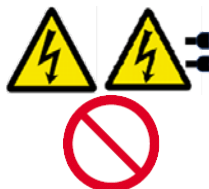
添付の電源コードを他の製品や用途に使用しない

添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の製品や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。



電源ケーブルを持って引き抜かない

電源ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。



電源コードを差し込んだまま取り扱わない

本製品の取り付け、取り外しの際は必ずすべての電源コードをコンセントから抜いてください。製品への電力供給を停止するにはすべて電源コードが抜く必要があります。

指定以外のコンセントに差し込まない

本製品は指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。

小さなお子様のいる場所には設置しない

本製品は小さなお子様がいる場所への設置には適しません。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項



注意



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

電源コード、Copper/光 LAN ケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する製品やコネクタを確認した上で接続してください。

添付品以外の指定品は以下になります。

NF9100-SP21 電源ケーブル(2m)x2 本 (プラグ形状 IEC320-C14)

NF9100-SP22 電源ケーブル(3m)x2 本 (プラグ形状 IEC320-C14)

NF9100-SP31 電源ケーブル(5m)x2 本 (プラグ形状 NEMA5-15P)

LAN ケーブル 1000BASE-T (Category 5e 以上)

LAN ケーブル 10GBASE -T (Category 6A 以上)

NF9370-SJ005 FC ケーブル(5m) x2 本 (OM4 皮膜強化)

NF9370-SJ010 FC ケーブル(10m)x2 本 (OM4 皮膜強化)

NF9370-SJ020 FC ケーブル(20m)x2 本 (OM4 皮膜強化)

NF9370-SJ050 FC ケーブル(50m)x2 本 (OM4 皮膜強化)

指定以外の電源コードの使用に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。

指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱い、および接続について次の点をお守りください。

- ・ ケーブルを踏まない。
- ・ ケーブルの上にものを載せない。
- ・ ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- ・ 破損したケーブルを使用しない。
- ・ ネジ止めなどのロックを確実に行ってください。



通気孔をふさがない

本製品の背面、前面の通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。



設置環境を満たさない場所に設置・保管しない

- ・ ほこりの多い場所
- ・ 給湯器のそばなど湿気の多い場所
- ・ 直射日光が当たる場所
- ・ 不安定な場所
- ・ 屋外など環境が安定しない場所 *

* 外気には粉塵や火山灰、塩分、設置環境基準を超過する湿度（水分）等を含んでいる可能性があります。外気と接する環境で使用する場合は装置の設置環境を満たさない可能性があります。



腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属が含まれている環境へも設置しないでください。本製品内部のプリント基板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがあるときは、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

 警告	
                 	自分で分解・修理・改造はしない 本製品の分解や、修理・改造は絶対にしないでください。 製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。 USB-DVDドライブの内部をのぞかない USB-DVDドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。 リチウム電池（及びオプション保守PC搭載のリチウムイオン電池）を取り外さない 本製品内部にはリチウム電池、また保守PCにはリチウムイオン電池が取り付けられています。電池を取り外さないでください。リチウム電池およびリチウムイオン電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。 また、電池の寿命で製品が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。 電源コードを差し込んだまま取り扱わない お手入れは、本製品の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま製品内の部品に触ると感電するおそれがあります。 また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布で埃やゴミをよくふき取ってください。埃がたまつたまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。 装置前面や内部にほこりが積もった状態で運用しない 定期的に清掃してください。装置前面や内部にほこりが積もった状態で運用を続けると、火災の原因になる恐れがあります。装置内部の清掃が必要な場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご相談ください。 消毒液が付着した手指で取り扱わない 装置の操作やオプション製品の取り付け取り外しは、消毒液が手指に付着した状態で行わないでください。消毒液が本機に付着することにより腐食、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

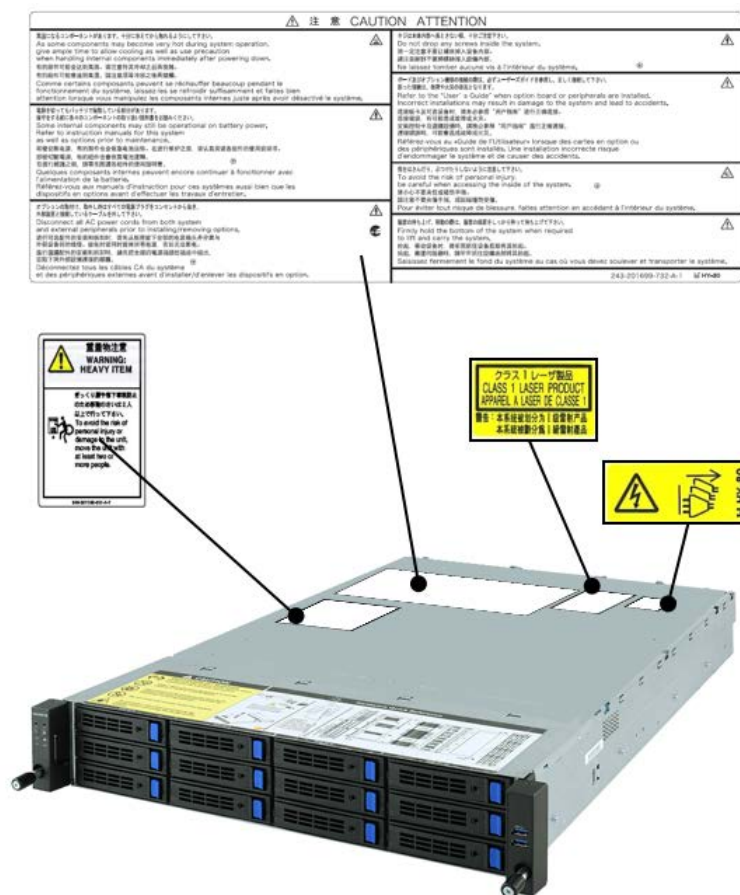
 注意	
	高温注意 本製品の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクなど製品内の部品は高温になっています。十分に冷めたことを確認してから触れるようにしてください。
 	中途半端に取り付けない 電源コードやインターフェースケーブル、ハードディスクは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。
	感電注意 本機の冷却ファン、ハードディスクドライブ、および電源ユニットはホットスワップに対応しています。通電中に部品の交換をする際は、内部の部品の端子部分などに触れて感電しないよう十分注意してください。

運用中の注意事項

 注意	
	ラックから引き出したり取り外したりしない 本製品の電源を入れたままラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。製品が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。
 	雷がなったら触らない 雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて製品には触れないでください。火災や感電の原因となります。
  	ペットを近づけない 本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が製品内部に入って火災や感電の原因となります。
 	動作中に装置をラックから引き出さない 本機が動作しているときにラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。
 	製品の上にものを載せない 本製品がラックから外れてけがや周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。
 	巻き込み注意 本製品の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。
	近くでスマートフォンや携帯電話を使わない 本製品のそばではスマートフォンや携帯電話の電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

警告ラベルについて

本製品内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本製品を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです（ラベルをはがしたり、汚したりしないでください）。もし、このラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは、販売店にご連絡ください。



取り扱い上のご注意

本製品を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本製品の誤動作や故障の原因となります。

AC 入力電圧が 100V のコンセントに添付の電源コードを接続してください。

電源の OFF は本製品の HDD ステータス LED が消灯しているのを確認してから行ってください。

本製品のコードをコンセントに接続した後、30 秒間は本製品の電源を ON にしないでください。

本製品の電源を OFF する場合には GUI の手順にしたがってください。

本製品の電源を一度 OFF した後、再び ON にするときは 30 秒以上経過してからにしてください。

電源コードをコンセントから抜いた後、再び接続するまでは 30 秒ほど時間を空けてください。

本製品を移動する前に電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策としては、無停電電源装置等を使用することをお勧めします。

次の条件に当てはまる場合は運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。

- 製品の輸送後
- 製品の保管後
- 製品の動作を保証する環境条件(温度：10℃～40℃、湿度：10%～85%)から外れた条件下で休止状態にした後

本製品のそばでは携帯電話の電源を OFF にしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

保管する内蔵機器や本体を再度運用する際、正常動作させるために保管環境条件(温度：-10℃～55℃、湿度：10%～85%)を守って保管してください。(ただし、結露しないこと)。

本製品は、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤作動や故障の原因となります。保管した大切なデータや資産を守るためにも、使用環境に十分になじませてからお使いください。

参考：冬季(室温と 10 度以上の気温差)の結露防止に有効な時間

ディスク装置：約 2～3 時間
メディア：約 1 日

セットアップについて

本製品の搭載および接続・各部設定(接続情報等)はお客様が実施してください。
なお、セットアップ作業を保守会社に依頼することも可能です。

はじめに

この度は、iStorage HS3-60 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、iStorage HS3-60 を正しくご使用いただく為の取扱方法、ご使用上の注意などについて説明するものです。

ご使用に際しまして、本製品の機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、本製品の取り扱いを十分にご理解ください。

2026年 8月 第2版

本書について

本書は、本製品を正しくご使用できるようにするための手引きです。
取り扱い上、わからないことが起きたときにお読みください。
本書は常に本製品のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に 3 種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、本製品を正しくお取り扱いください。

	本製品の取り扱いやソフトの操作で守らなければならない事柄や特に注意すべき点を示します。
	本製品やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本文の構成について

本取扱説明書の構成と各項目の概略について説明します。

- 1 項 開梱
梱包内容と付属品の確認ならびに開梱時の注意事項について説明しています。
- 2 項 iStorage HS3-60 について、各部の名称、ならびに梱包内容について説明します。また取扱いや保管の際の注意事項を記載しています。
- 3 項 設置
本製品をラックに搭載する手順、フロントベゼルの取り付け手順、フロントベゼルの取り外し手順、ならびに電源ケーブル接続について説明しています。
- 4 項 初期設定
電源の投入、セットアップ用のパソコンの設定・接続、本製品のセットアップ、LAN ケーブルの接続、接続確認ならびに、バックアップの開始について説明しています。
- 5 項 基本操作方法
動作状態の確認、電源の切断、ソフトウェアのアップデートの基本操作について説明しています。ここで説明する内容に従って正しくお使いください。
- 6 項 故障および異常時の対処
本製品が正しく動作しなくなったときは、故障を疑う前にまずこの章で説明している内容について確認してください。

第三者への譲渡について

本製品又は、製品に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)する時は、次の注意を守ってください。

- 本製品について
本製品を第三者へ譲渡(または売却)する場合には、本書を一緒にお渡し下さい。



：ハードディスクドライブ内のデータについて

譲渡する製品内に搭載されているハードディスクドライブに保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないようお客様の責任において確実に処分してください。

「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために、確実にデータを消去することを強くお勧めします。データ消去についての詳細は保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分しないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

- 添付のソフトウェアについて
本製品に添付のソフトウェアを第三者に譲渡(または売却)する場合には、以下の条件を満たす必要があります。
- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと。
- 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること。

本製品の廃棄について

本製品を廃棄するときは、お買い求めの販売窓口又は保守サービス会社にご相談下さい。お客様による分解は危険ですので行わないで下さい。

本製品にはリチウム電池が搭載されております。リチウム電池の破棄につきましては各地方自治体の条例に従った処理が必要になります。

目 次



使用上のご注意 ～必ずお読みください～iv

安全にかかわる表示について iv

本書及び警告ラベルで使用する記号とその内容 v

安全上のご注意 vi

全般的な注意事項 vi

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項 viii

電源・電源コードに関する注意事項 ix

設置・移動・保管・接続に関する注意事項 xii

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項xiv

運用中の注意事項xvi

警告ラベルについて xvii

取り扱い上のご注意 xviii

はじめに xix

本書について xx

本文中の記号について xx

本文の構成について xxi

第三者への譲渡について xxii

本製品の廃棄について xxiii

1. 開 梱 1

1.1. 構成品の確認 1

2. 各部の名称と機能 2

2.1. ノード 2

2.1.1. フロントベゼル 2

2.1.2. ノード前面 3

2.1.3. ノード背面 4

3. 設置 6

3.1. ラックへの搭載 6

3.2. ノード搭載時の注意事項 8

3.3. ラックへの搭載/取り外し手順 9

3.3.1. スライドレールの取り付け 9

3.3.2. ノード搭載手順 14

3.3.3. ノードの取り外し手順 17

3.3.4. フロントベゼルの取り付け 20

3.3.5. フロントベゼルの取り外し 21

3.4. 電源ケーブル接続 22

4. 初期設定 23

4.1.	事前準備	23
4.2.	電源の投入	25
4.3.	セットアップ用のパソコンの設定・接続	26
4.4.	予約ネットワーク「169.254.0.0/16」の変更（必要な場合のみ）	29
4.4.1.	予約ネットワークの変更	29
4.5.	本製品のセットアップ	34
4.5.1.	ブラウザの設定（必要な場合）	34
4.5.2.	管理ページ(GUI)への接続	34
4.5.3.	使用許諾の確認	35
4.5.4.	基本情報の設定	36
4.5.5.	ネットワークの設定	37
4.5.6.	ファイルシステムの作成	38
4.5.7.	設定の確認・反映	39
4.5.8.	パスワード設定	41
4.6.	LANケーブルの結線	42
4.7.	接続確認	43
4.7.1.	バックアップサーバのOSがWindows系の場合	43
4.7.2.	バックアップサーバのOSがUNIX系の場合	45
4.8.	バックアップの開始	46
4.9.	PP・サポートサービス登録	46
5.	基本操作方法	47
5.1.	基本操作方法	47
5.1.1.	動作状態の確認	47
5.1.2.	電源の切断	48
5.1.3.	システムの再起動	48
5.1.4.	ログのダウンロード	49
5.2.	ソフトウェアのアップデート	50
6.	故障および異常時の対処	51
6.1.	トラブルシューティング	52
6.1.1.	ログインユーザのパスワードリセット	54
6.1.2.	ネットワーク設定のリセット	58
6.2.	故障・異常時の表示	61
6.3.	お電話をいただく前に	61
6.4.	ご質問・ご相談窓口	61
6.5.	製品寿命/修理サービス期間	61
付録A.	事前準備一覧表	62
付録B.	LED表示	63

1. 開 梱

搬入された本製品の梱包状態を解き輸送用保護材を外します。



: 環境条件を考慮して結露の防止策を施した後に実施してください。
(搬入後、周囲温度に十分馴染ませてから開梱してください。)

1.1. 構成品の確認

スタートアップガイドに記載されている構成品表により、構成品に不足がないこと、不要な構成品が含まれていないことを確認してください。

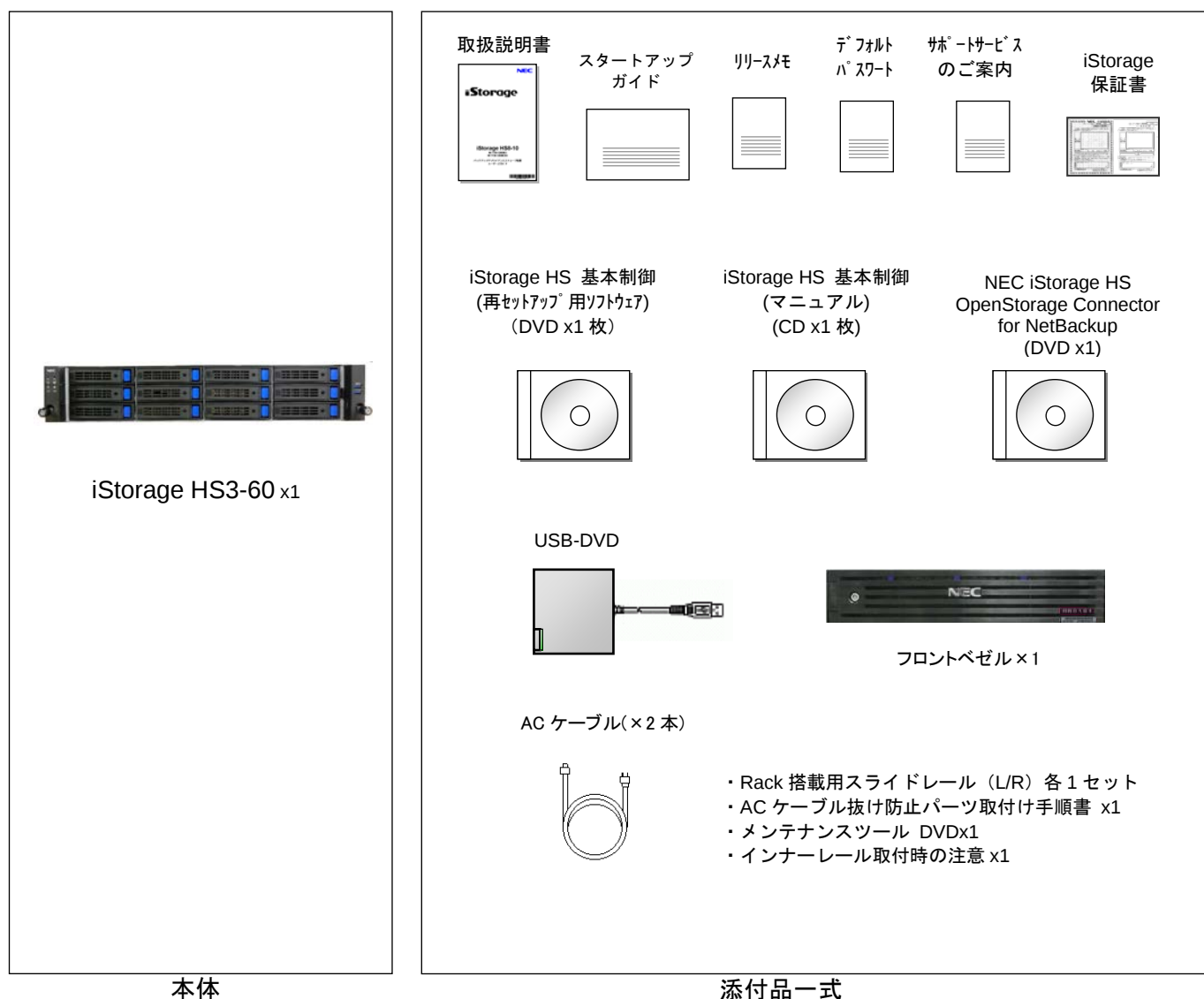


図 1-1 梱包箱の中身

2. 各部の名称と機能

この章では、各部の名称および機能について説明します。

2.1. ノード

2.1.1. フロントベゼル



図 2-1 フロントベゼル

表 2-1 フロントベゼルの名称と機能

NO	名 称	機 能
1	フロントベゼル	フロントベゼルは、ハードディスクドライブを保護します。
2	キースロット	フロントベゼルのロック用鍵穴です。
3	ノードラベル	ノードの種別が確認できます。
4	シリアルラベル	ノードのシリアル番号が記載されています。

2.1.2. ノード前面

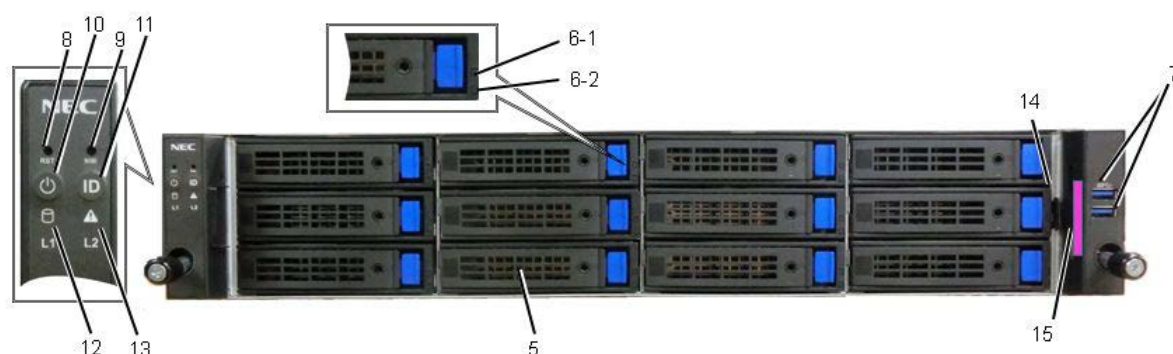


図 2-2 ノード前面図

表 2-2 ノード前面の名称と機能

NO	名 称	機 能
5	3.5 インチ ハードディスクドライブベイ	ハードディスクドライブを搭載するベイです。(HDD #0~11)
6-1	ディスクアクセス LED1	ハードディスクドライブの動作状態を表します。
6-2	ディスクアクセス LED2	ハードディスクドライブの電源状態を表します。
7	USB ポート	USB インタフェースに対応している機器と接続できます。
8	リセットボタン	ノードをリセットするボタンです。
9	NMI ボタン	ノードのメモリダンプを実行するボタンです。
10	パワーボタン/パワーLED	ノードの電源を ON/OFF するボタンです。パワーLED 消灯状態でボタンを押すと、パワーLED が点灯してノードが起動します。パワーLED 点灯状態でボタンを押すとノードはシャットダウンします。パワーLED 点灯状態で 4 秒以上ボタンを押し続けるとノードは強制的に電源 OFF されます。
11	ID ボタン/ID LED	ID LED を点灯/消灯するボタンです。
12	HDD ステータス LED	HDD #0~13 のハードディスクドライブのディスクアクセス LED1 の状態を総合的に表します。
13	システムステータス LED	ノードの HW 状態を表します。
14	シリアルナンバータグ	タグを引き出すとシリアルナンバーが確認できます。
15	ノードラベル	ノードの種別が確認できます。

※LED 表示の詳細については、「付録 B. LED 表示」をご参照ください。

2.1.3. ノード背面

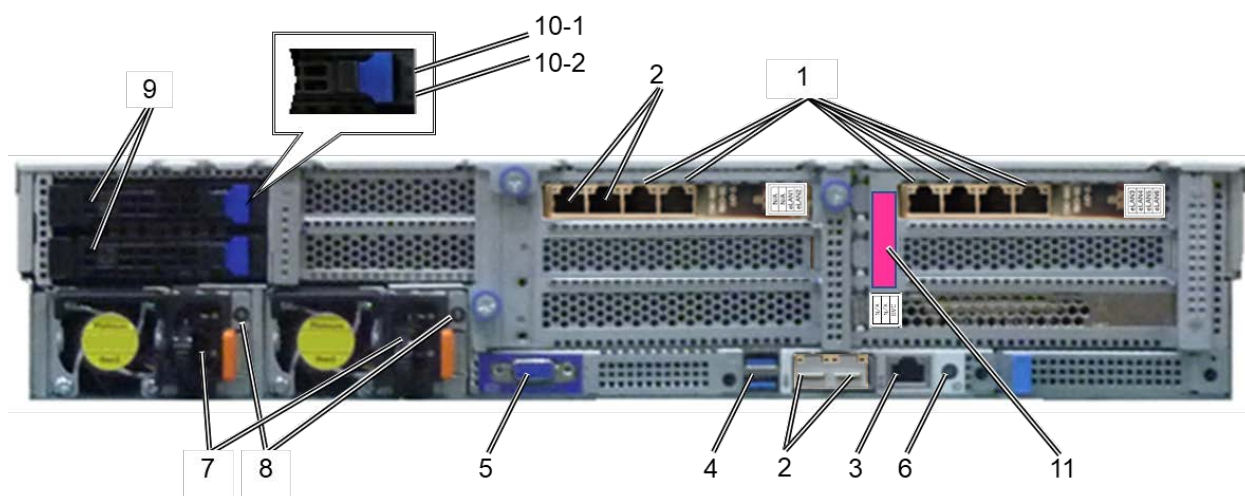


図 2-3 ノード背面図

表 2-3 ノード背面の名称と機能

NO	名 称	機 能
1	LAN コネクタ (eLAN)	LAN の接続コネクタです。 1.eLAN1/2/3/4/5/6 外部接続用 LAN コネクタ 詳細は次ページの外部 LAN ポートロケーションを参照願います。 2.N/A 未使用ポートです。 3.BMC 保守作業時にのみ使用します。
2	LAN コネクタ (N/A)	
3	LAN コネクタ (BMC)	
4	USB ポート	USB インタフェースに対応している機器と接続できます。
5	VGA ポート	ディスプレイ装置を接続するポートです。
6	ID ボタン/ID LED	ID LED を点灯/消灯するボタンです。
7	AC インレット	電源コードを接続するコネクタです。
8	AC パワーLED	電源ユニットの状態を表します。
9	2.5 インチ ハードディスクドライブベイ	ハードディスクドライブを搭載するベイです。 (HDD #12~13)
10-1	ディスクアクセス LED1	ハードディスクドライブの動作状態を表します。
10-2	ディスクアクセス LED2	ハードディスクドライブの電源状態を表します。
11	ノードラベル	ノードの種別が確認できます。

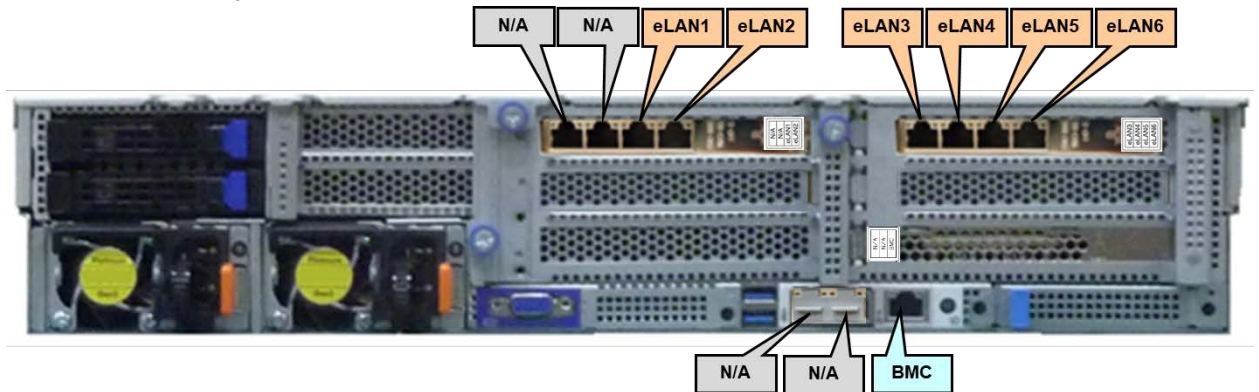
※LED 表示の詳細については、付録 B. LED 表示をご参照ください。

外部 LAN ポートロケーション

(写真は NF7158-SY9041
の搭載例です)

① 10G_NIC 未搭載装置 (x は 0,1,2)

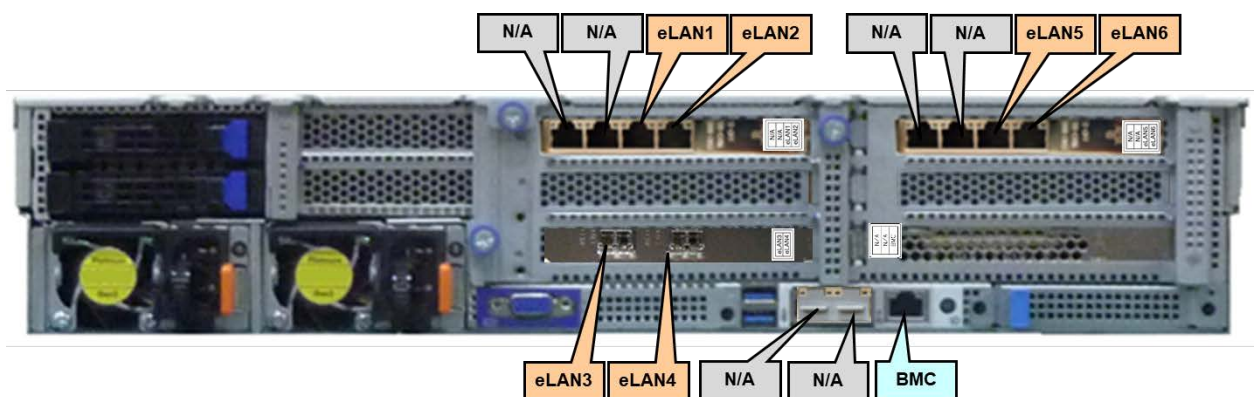
- ・NF7158-SBT60x または NF7158-SBT60xA



モジュラーカバーが付いているポートは使用しませんのでカバーは外さないでください。

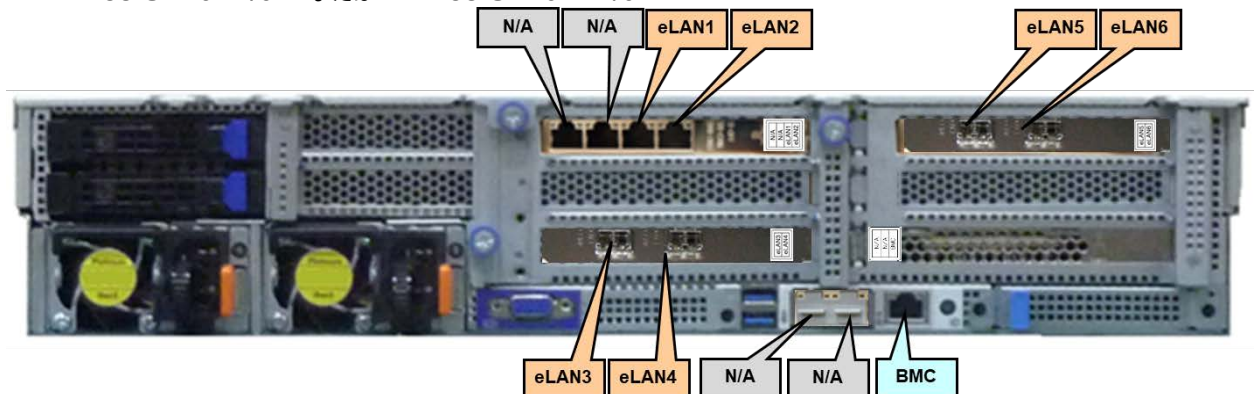
② 10G_NIC 1 枚搭載装置 (x は 0,1,2)

- ・ NF7158-SBT61x /63x または NF7158-SBT61xA /63xA
- ・ NF7158-SBT60x または NF7158-SBT60xA に NF7158-SY9041 か 9042 × 1 枚増設時



③ 10G_NIC 2 枚搭載装置 (x は 0,1,2)

- ・ NF7158-SBT60x または NF7158-SBT60xA に NF7158-SY9041 か 9042 × 2 枚増設 (同一型番のみ可)
- ・ NF7158-SBT61x または NF7158-SBT61xA に NF7158-SY9041 × 1 枚増設時
- ・ NF7158-SBT63x または NF7158-SBT63xA に NF7158-SY9042 × 1 枚増設時
- ・ NF7158-SBT62x /64x または NF7158-SBT62xA /64xA



3. 設置

3.1. ラックへの搭載

 警告	
	装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、本書の「使用上のご注意」の「安全上の注意」をご覧ください。 ● 指定以外の場所で使用しない ● アース線をガス管につながらない

 注意	
	装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、本書の「使用上のご注意」の「安全上の注意」をご覧ください。 ● 1人で搬送・設置をしない ● 荷重が集中してしまうような設置はしない ● 1人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する ● ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない ● 複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない ● 定格電源を越える配線をしない ● 腐食性ガスの発生する環境で使用しない

安全に本製品をご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 本製品をラックから完全に引き出せないような狭い場所。
- ラックや搭載する装置の総重量に耐えられない場所。
- スタビライザが設置できない場所や耐震工事を施さないと設置できない場所。
- 床におうとつや傾斜がある場所。
- 温度変化の激しい場所(暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く)。
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する場所。
また、埃や空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている場所。
- 薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 強い磁界を発生させるもの(テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど)の近く(やむを得ない場合は、保守サービス会社に連絡してシールド工事などを行ってください)。
- 本製品の電源コードを他の接地線(特に大電力を消費する装置など)と共有しているコンセントに接続しなければならない場所。
- 電源ノイズ(商用電源をリレーなどでON/OFFする場合の接点スパークなど)を発生する装置の近く(電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルタの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください)。
- 本製品が動作を保証していない環境

3.2. ノード搭載時の注意事項

 警告	
	装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」の「安全上の注意」をご覧ください。 ● 規格外のラックで使用しない ● 指定以外の場所で使用しない

 注意	
	装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」の「安全上の注意」をご覧ください。 ● 落下注意 ● 装置を引き出した状態にしない ● カバーを外したまま取り付けない ● 指を挟まない



本製品はEIA 規格に適合した 19 型(インチ)標準ラックに取り付けて使用します。本製品をラックに搭載するには 2U のスペースが必要です。排気の回り込みによる冷却障害を防止するために、ラック内で装置を搭載しないスペースにはブランクパネルを取り付けてください。



ラック内部の温度上昇とエアフローについて

複数台の装置を搭載したり、ラック内部の通気が不十分だったりすると、ラック内部の温度が各装置から発する熱によって上昇し、誤動作するおそれがあります。運用中にラック内部の温度が保証範囲を超えないようラック内部、および室内のエアフローについて十分な検討と対策をしてください。本製品は、前面から吸気し、背面へ排気します

3.3. ラックへの搭載/取り外し手順

3.3.1. スライドレールの取り付け

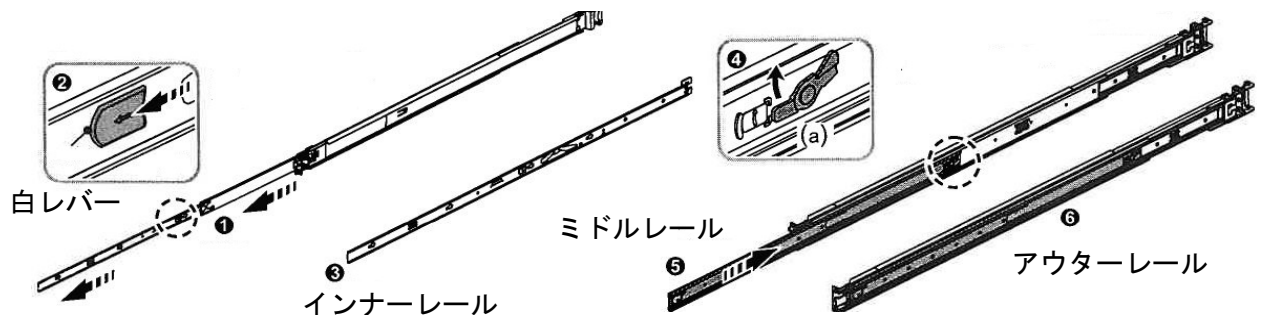
取り付け手順

本製品は弊社および他社製ラックに取り付けることができます。
次の手順でラックへ取り付けます。

(1) ラック搭載前の準備

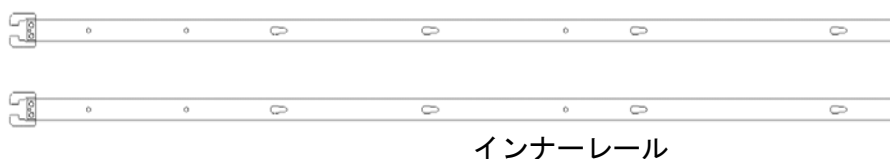
下記の手順に従って、添付品のスライドレール(L/R)からインナーレールを取外します。

- ①インナーレールを矢印方向にロックが掛かるまで引き出します。
- ②③白いレバーを矢印方向に引き、ロックを外し、インナーレールを引き出してください。
- ④アウターレールのレバーを矢印方向に引いてください。(方向は貼られていえるラベルを参照)
- ⑤⑥ミドルレールをアウターレールの中に戻してください。



(2) インナーレールの確認

インナーレールは左右共通のものを使用します。



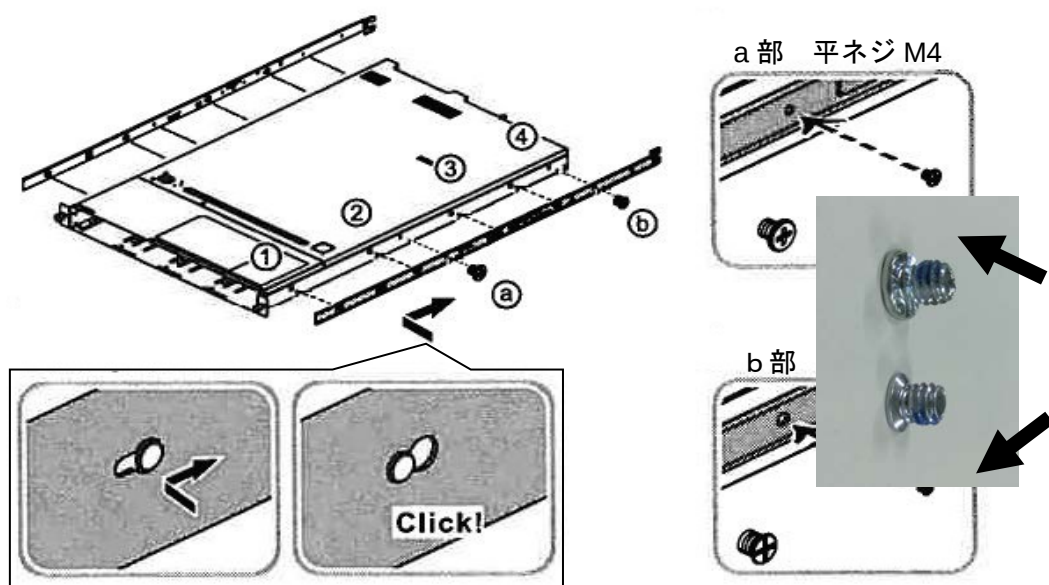
(3) インナーレールの取り付け

インナーレールを本製品側面4箇所(①②③④)の突起にキーホールを合わせて、本製品背面側にスライドさせます。このときにインナーレールのキーホール①にあるロックが「カチッ」と音がして、ロックされていることを確認してください。

(4) インナーレールのネジ穴2箇所 (a/b部) に添付の固定ネジを締め付けてください。



a/b 部の固定に使用するネジは種類が違いますので注意してください。間違った場合、ラックに取り付けることができません。よく確認して取付けてください。

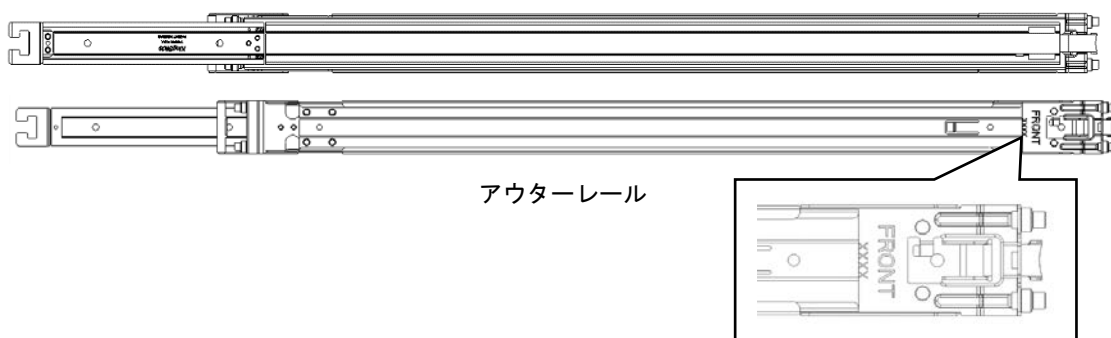


(5) 反対側も同様に取り付けます。

(6) アウターレールの確認

アウターレールの向きを確認します。

アウターレールにある「FRONT」の刻印を確認してください。



(7) 搭載するラックのマウントブラケットの穴形状を確認してください。

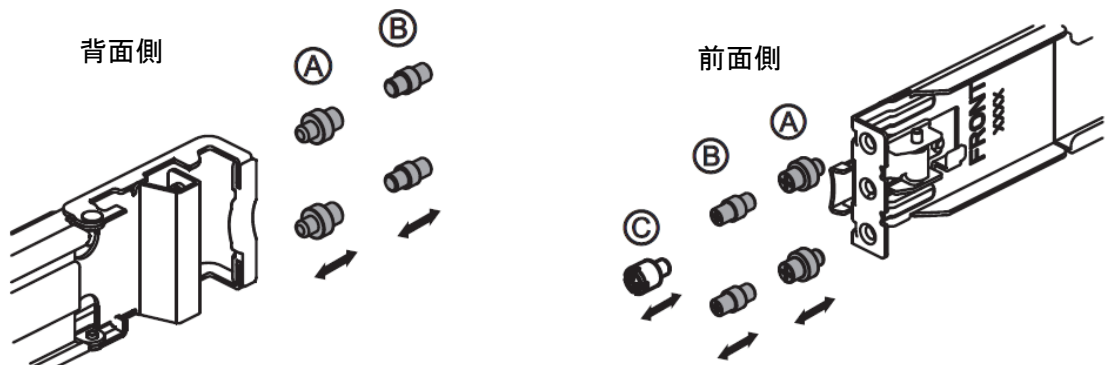
① 9.5角穴用ピン (初期搭載済)

9.5角穴ラックの場合、そのまま取り付けてください。

② 7.1 丸穴用ピン

7.1丸穴ラックの場合、下記を参考にピンを交換してください。

③ M5ブラケットネジ (初期搭載済)

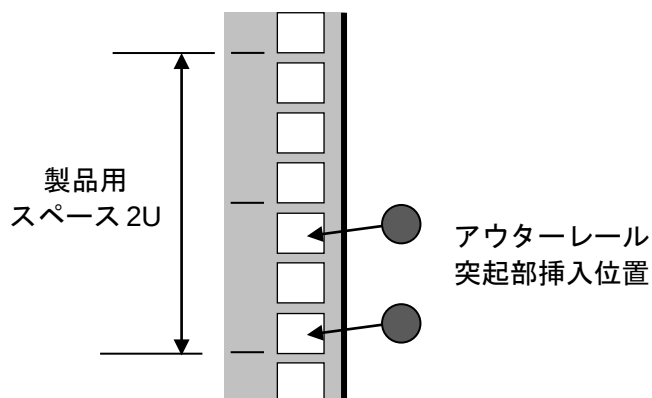
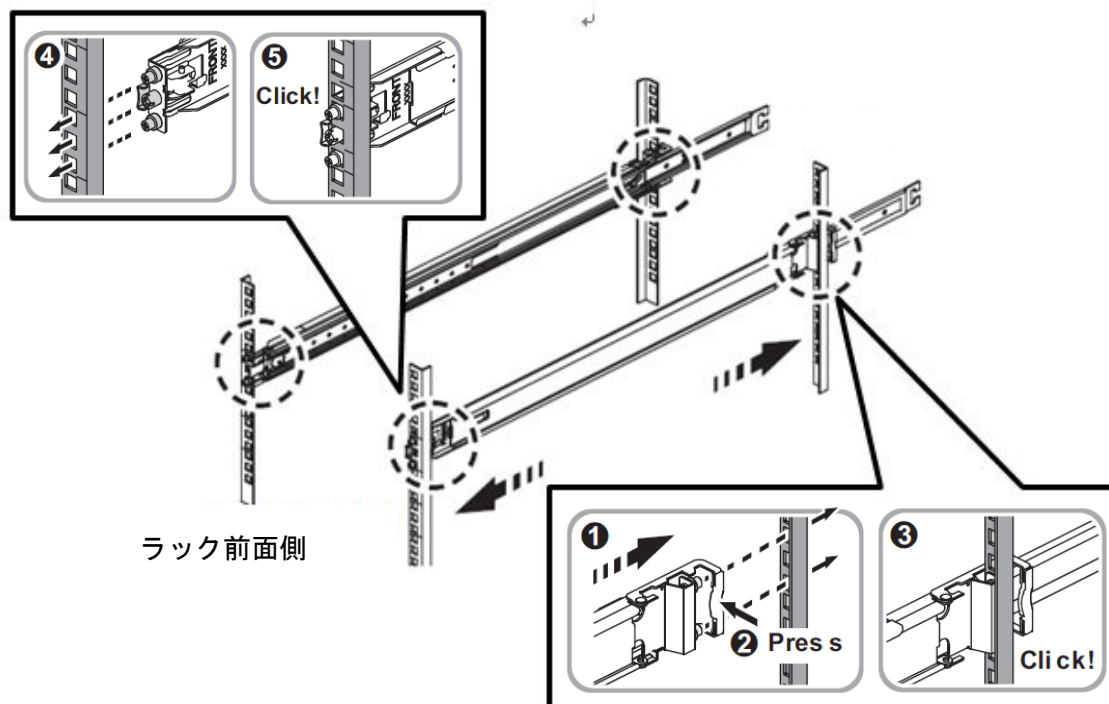


交換手順

1. ①と③を取り外してください。
2. ②を取り付けてください。
3. ラックヘスライドレールを取り付けてください。
4. ④を取り付けてください。

(8) アウターレールの取り付け

アウターレール前後の丸い突起を、19 型ラックの取り付け穴に入れて取り付けます①②③④⑤。この時に「カチッ」と音がして、ロックしたことを確認してください。下図は右側(前面)を示していますが、右側(背面)、左側(前面/背面)も同様に取付けてください。もう一方のレールを取り付ける時、すでに取り付けているレールと同じ高さに取り付けてください。



ミドルレールをアウターレールに完全に押し込んでいないと前面のロックが掛かりませんので注意してください。
レールが確実にロックされ、脱落しないことを確認してください。



前後に多少ガタツキがでることがありますが、製品に支障はありません。

注意



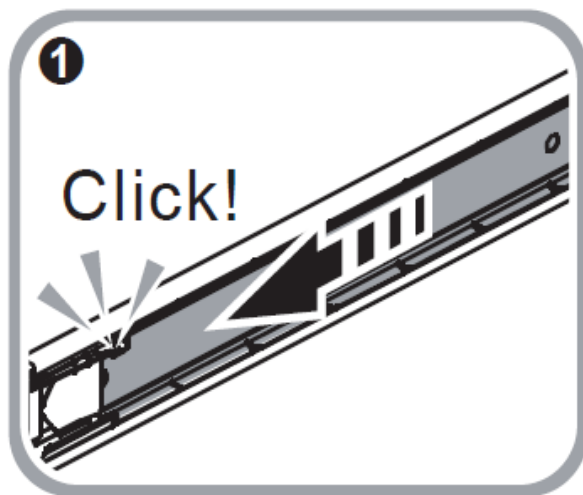
装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」の「安全上の注意」をご覧ください。

- 1人で持ち上げない
- 落下注意
- 装置を引き出した状態にしない
- カバーを外したまま取り付けない
- 指を挟まない

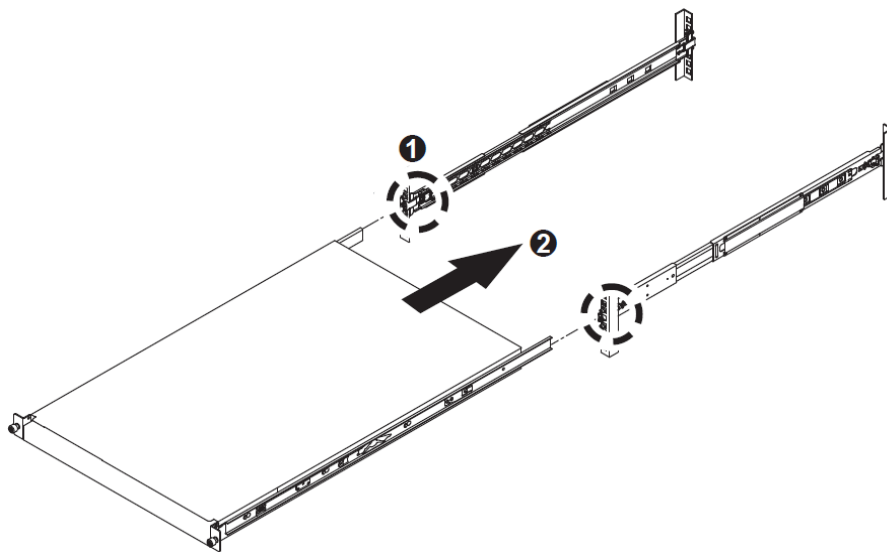
3.3.2. ノード搭載手順

次の手順で本製品をラックへ取り付けます。取り付けは2名以上で行ってください。

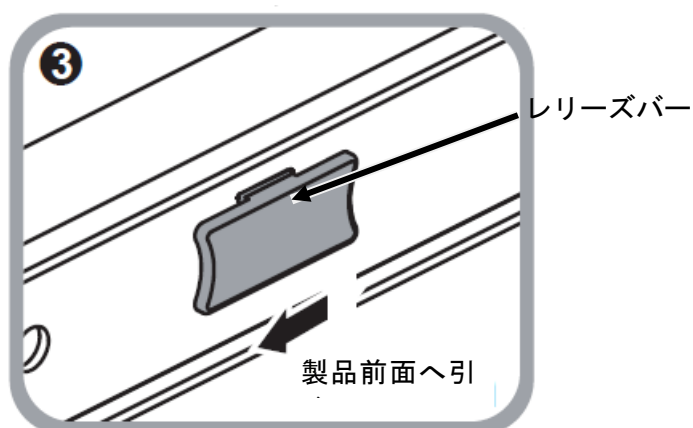
- (1) 左右のアウターレール内のミドルレールをロックされるまで引き出します。



- (2) 2人以上で本製品をしっかりと持ってインナーレールをミドルレールへ差し込みます①②。



(3) 途中で本製品がロックされたら、側面にあるリリースバー(青色のレバーが左右にあります)を製品前面に引き③ながらゆっくりと押し込みます。

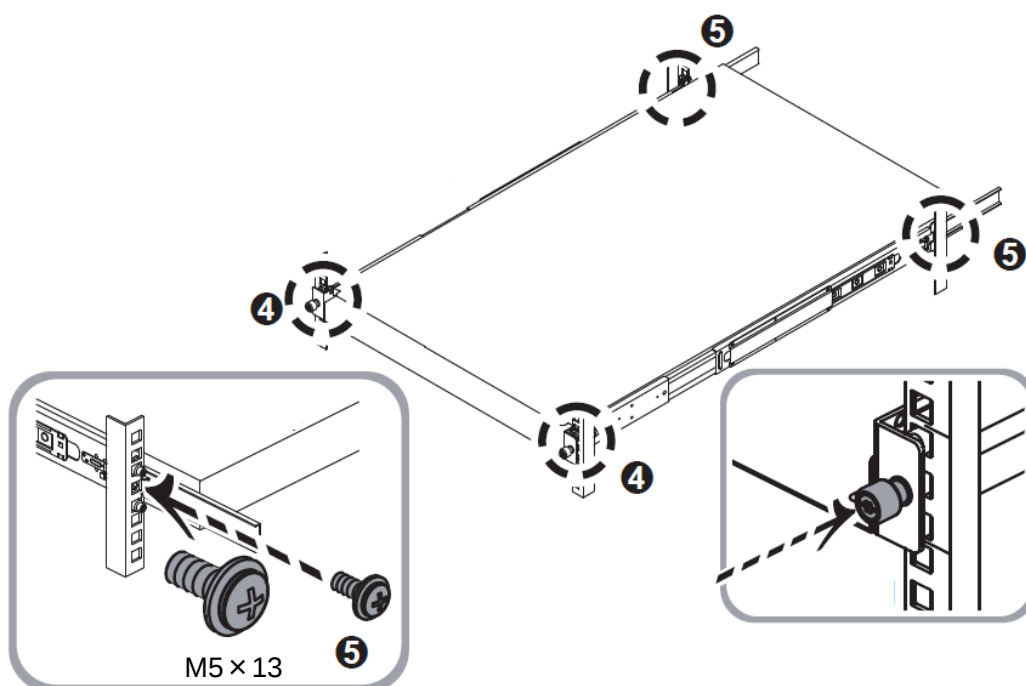


ノードを勢いよく押し込むと ミドルレールの中央付近にあるロックを破損する恐れがあります。

(4) 製品を最後まで押し込みます。

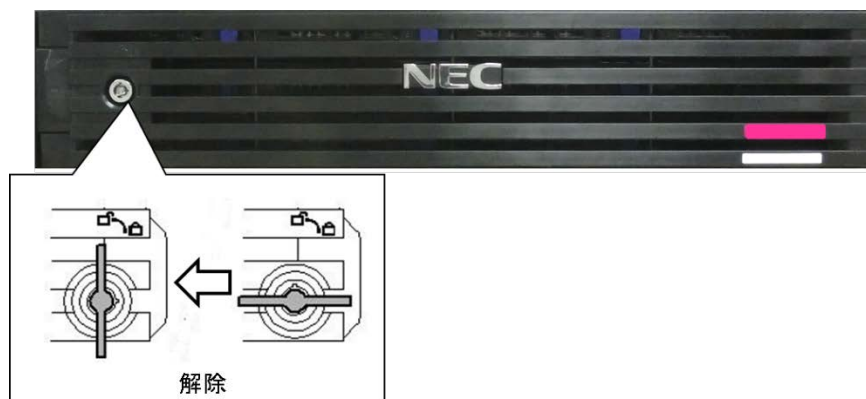
(5) 製品前面に実装された2箇所のネジ④を締め付けて固定してください。

(6) アウターレール背面の2箇所⑤を添付されたネジでラックに固定してください。



フロントベゼルの取り付け

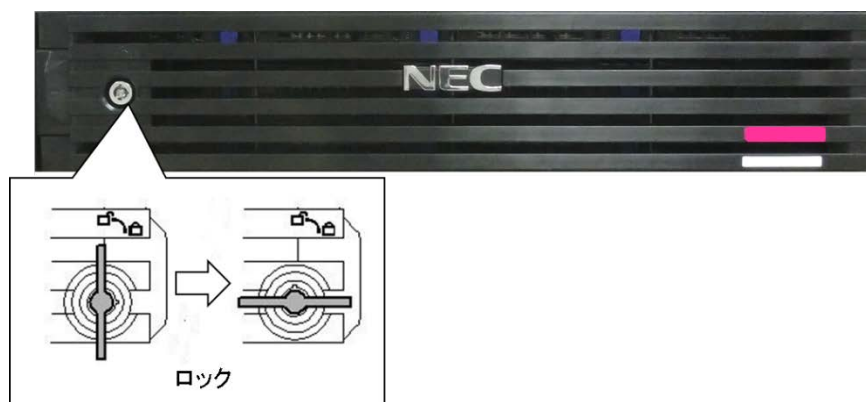
(7) フロントベゼルの鍵を解除の位置まで回してください。



(8) フロントベゼルの右側をフック部分に引っ掛けます。次にフロントベゼル正面から左側のレバーを右方向に押したまま、カチッと音が鳴るまで押し込みます。



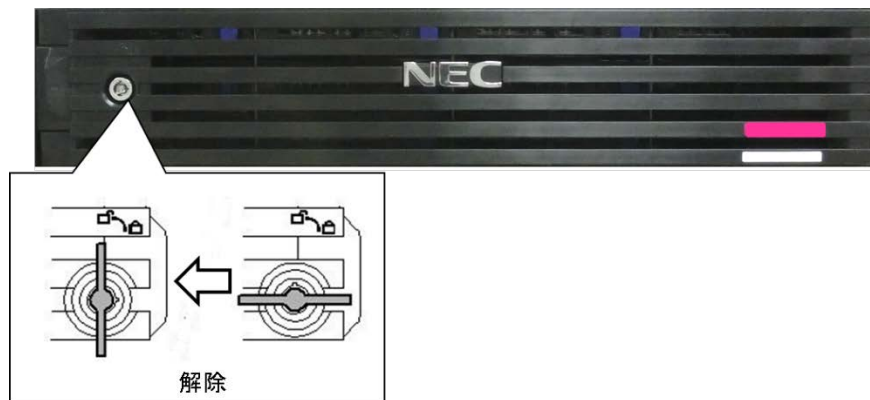
(9) フロントベゼルの鍵をロックの位置まで回してください。



3.3.3. ノードの取り外し手順

次の手順で本製品をラックから取り外します。取り外しは 2 名以上で行ってください。

- (1) 本製品の電源がOFF になっていることを確認し、本製品に接続している電源コードやケーブルをすべて取り外します。
- (2) フロントベゼルを取り外します。
- (3) フロントベゼルの鍵を解除の位置まで回してください。



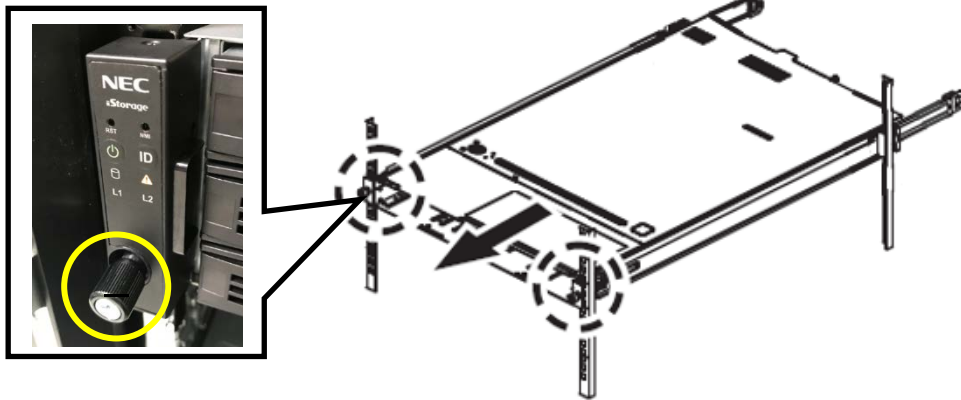
- (4) フロントベゼルを正面から見て左側のレバーを右方向に押してロックを外します。



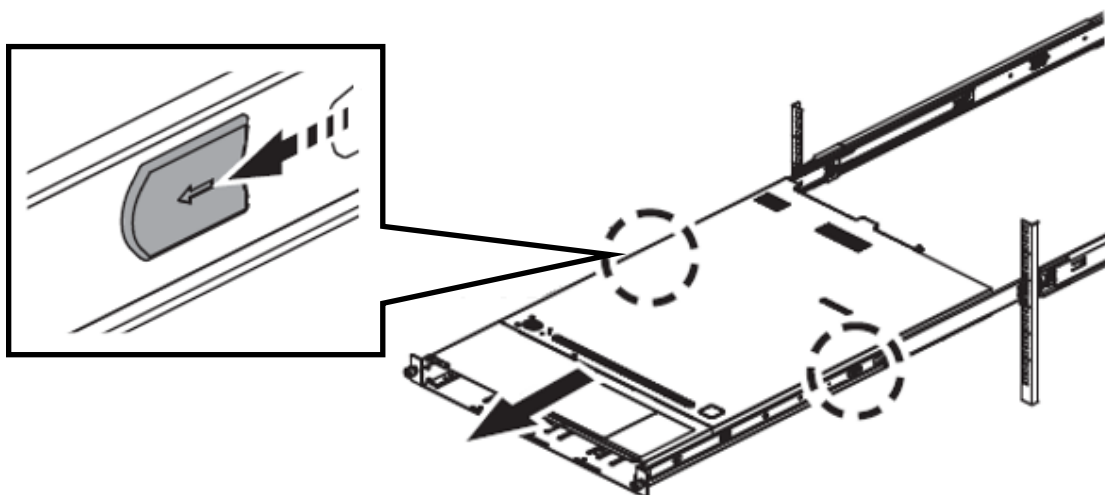
- (5) 次に、左側のロックが解除されたことを確認し、フロントベゼルの左端を持って手前に引いて、装置から取り外してください。



(6) 本製品前面の左右にある固定ネジを緩め、ゆっくりと静かにラックから引き出します。



(7) 本製品をラックから引き出すと、途中でロックされます。レール左右の白色のスライダー(レールストッパー)を引きながら、さらに引き出します。



レバーやレールで指を挟まないよう十分に注意してください。

(8) 本製品をしっかりと持ってラックから取り外します。



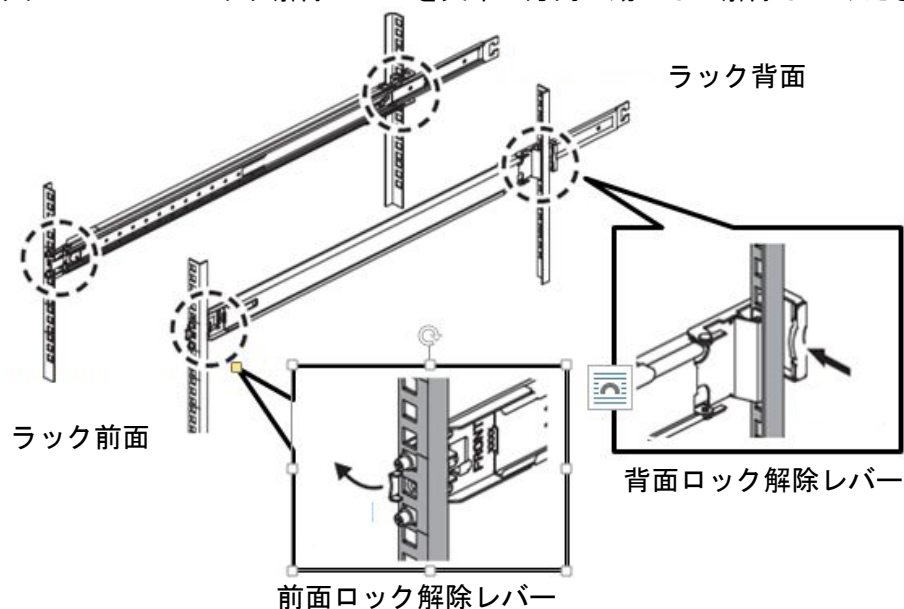
- 複数名で本製品の底面を支えながらゆっくりと引き出してください。
- 本製品を引き出した状態で、本製品の上部に荷重をかけないでください。

アウターレールの取り外し

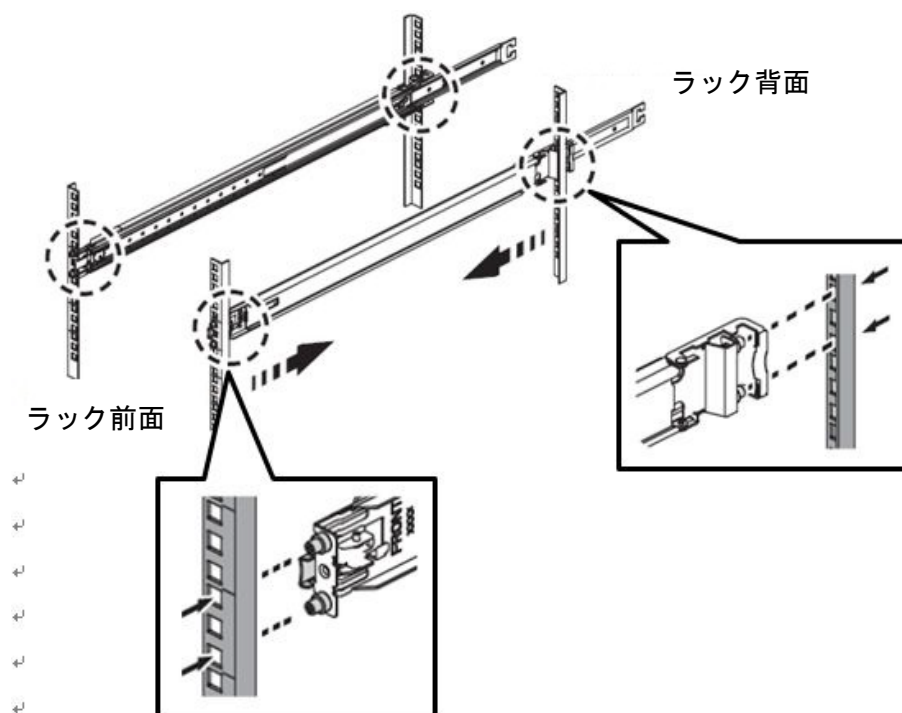
次の手順でアウターレールをラックから取り外します。

※7.1丸穴用にピンを入れ替えている場合はP11を参照して、◎ M5ブラケットネジを外してから作業してください。

- (1) 前後のアウターレールのロック解除レバーを矢印の方向に動かして解除してください。



- (2) アウターレールを矢印方向へ押しながら外してください。



3.3.4. フロントベゼルの取り付け

1. フロントベゼルの鍵を解除の位置まで回してください。

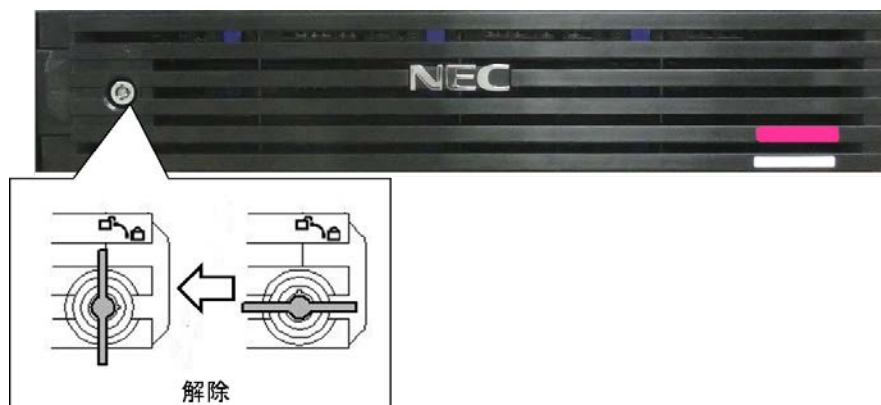


図 3-1 フロントベゼルの取り付け(1)

2. フロントベゼルの右側をフック部分に引っ掛けます。次にフロントベゼル正面から左側のレバーを右方向に押したまま、カチッと音が鳴るまで押し込みます。

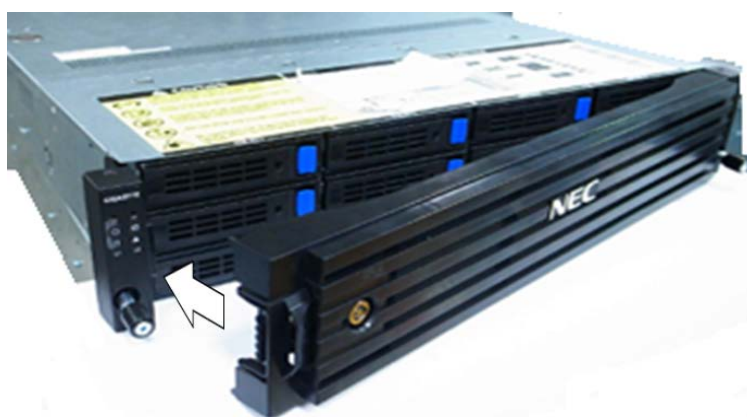


図 3-2 フロントベゼルの取り付け(2)

3. フロントベゼルの鍵をロックの位置まで回してください。

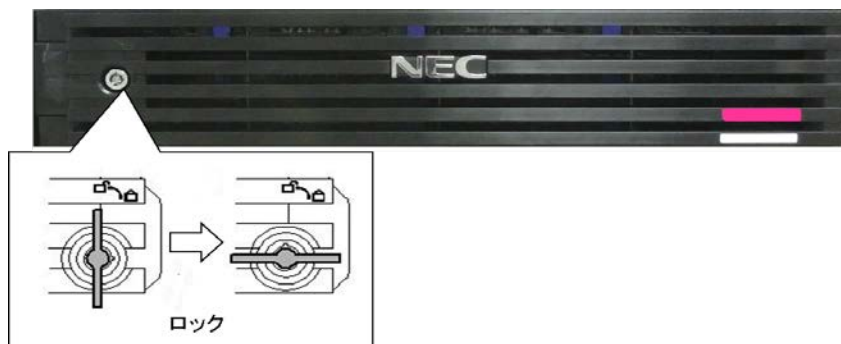


図 3-3 フロントベゼルの取り付け(3)

3.3.5. フロントベゼルの取り外し

1. フロントベゼルの鍵を解除の位置まで回してください。

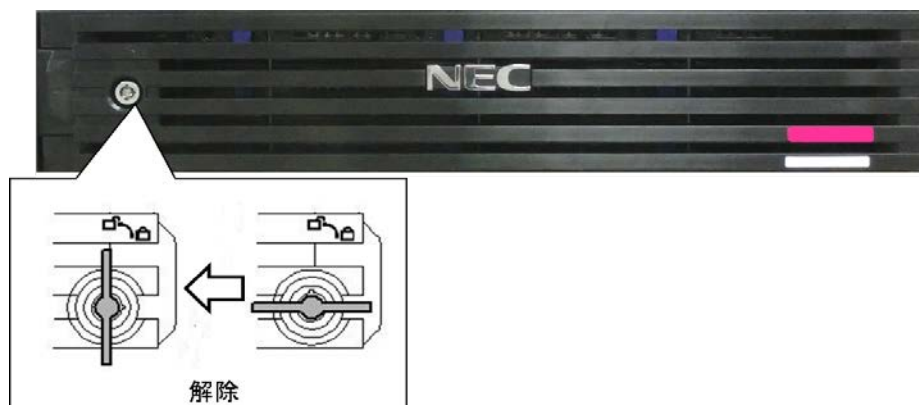


図 3-4 フロントベゼルの取り外し(1)

2. フロントベゼルを正面から見て左側のレバーを右方向に押してロックを外します。



3. 次に、左側のロックが解除されたことを確認し、フロントベゼルの左端を持って手前に引いて、装置から取り外してください。

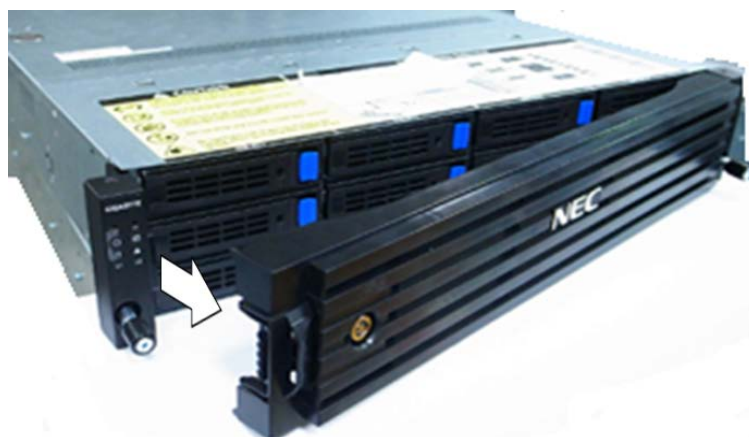


図 3-5 フロントベゼルの取り外し(2)

3.4. 電源ケーブル接続

本製品は、"AC100V $\pm$ 10%または、AC200V $\pm$ 10%、50/60Hz $\pm$ 3Hz"により、単相の100V/200Vの電源を使用します。

AC 電源ケーブルのプラグの形状は NEMA5-15P(AC100V)または、IEC320-C14 (AC200V)です。

お客様が準備した電源コンセントを使用するにあたり、以下の電源であることを確認してください。

電源電圧	: 100V $\pm$ 10% または、200V $\pm$ 10%
周波数	: 50/60Hz $\pm$ 3Hz

本製品は冗長電源構成であるため、2本の電源ケーブルを1本ずつ別系統の電源コンセントに接続してください。同一系統の電源コンセントに2本とも接続した場合、電力の冗長性がなくなります。

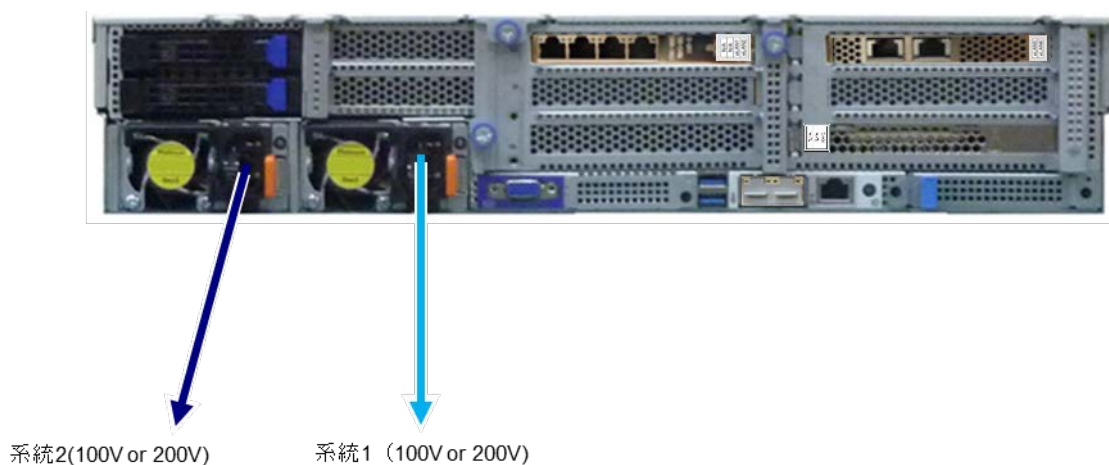


図 3-6 AC 電源ケーブルの接続



: 標準では 100V 用電源ケーブルが添付されています。200V 電源を使う場合、添付のケーブルはご利用いただけませんので、専用のケーブル(オプション)を別途お買い求めください。他ケーブルの使用については販売元にご確認ください。

4. 初期設定

4.1. 事前準備

セットアップ中に以下の物が必要になります。事前にご用意ください。

■ 電源 × 2 系統

電源電圧 : 100V±10% または、200V±10%

周波数 : 50/60Hz±3Hz

電源プラグ形状 : NEMA 5-15P (AC100V) または、IEC320-C14 (AC200V)



: 標準では 100V 用電源ケーブルが添付されています。200V 電源を使う場合、添付のケーブルはご利用いただけませんので、専用のケーブル(オプション)を別途お買い求めください。

■ セットアップ用のパソコン × 1 台

必須仕様 : LAN ポート(100BASE-T) × 1 ポート

推奨 OS : Windows 7 以降

必須ソフト : Microsoft Edge 93 以降

■ LAN ケーブル(カテゴリ 5e) × 1 本



: LAN ケーブルは本製品に添付されていません。

■ ユーザ環境上にあるパソコン × 1 台

必須ソフト : Microsoft Edge 93 以降

■ モニタ、キーボード × 1 台



: 本製品に 10GBASE-SR を搭載している場合、モニタとキーボードをご用意ください。

■ ユーザ環境上にあるバックアップサーバ

推奨 OS : Windows Server または UNIX 系



: 接続確認には、Windows Server 2003、RHEL4 の場合の例を記載しています。

推奨ソフト : バックアップソフトウェア



: サポートしているバックアップソフトウェアの詳細については、弊社担当営業、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

セットアップとして以下の情報の入力が必要になります。

設定項目	概 要
ログインユーザのパスワード	ログインユーザの新しいパスワードを入力する必要があります。 6 文字以上 50 文字以下の半角英数字が使用可能です。
IP アドレス	本製品を使用するために IP アドレスが必要です。本セットアップでは、IP アドレスを 1 つ設定可能です。なお、IP アドレス等の情報が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
ネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
タイムゾーン	本製品に設定するタイムゾーンです。



: 半角英数字は、「A..Z」、「a..z」、「0..9」です。

また、以下の情報も用意してください。

設定項目	概 要
システム名	iStorage HS が 2 台以上ある環境で、それぞれの装置を識別するためにシステム名を入力することができます。20 文字以下の半角英数字が使用可能です。
NTP サーバ	ユーザ環境の NTP サーバと時刻同期を行う場合は、NTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力してください。
DNS サーバ	NTP サーバでホスト名を入力する場合は、DNS サーバの IP アドレス、検索ドメイン名が必要です。
検索ドメイン	
CIFS ファイルシステム名	本セットアップ手順の「4.7. 接続確認」で Windows マシンから接続確認を行う場合は CIFS ファイルシステムの名前が必要です。
NFS ファイルシステム名	本セットアップ手順の「4.7. 接続確認」で UNIX 系マシンから接続確認を行う場合は NFS ファイルシステムの名前が必要です。



: 初期導入時に設定した内容は、運用開始後でも変更可能です。(※ 但し、一部システムの再起動を伴うものあり)

4.2. 電源の投入

電源投入の手順について以下に示します。

本製品を起動する場合、以下の手順で電源を投入してください。

1. 本製品の前面にあるパワーボタンを押してください。
2. パワーボタンを押した後、パワーLED が緑色に点灯したことを確認してください。



4.3. セットアップ用のパソコンの設定・接続

セットアップ用のパソコンに対して、ネットワークの設定を行い、本製品と接続する手順を以下に示します。

セットアップ用のパソコンと本製品の eLAN1 を LAN ケーブルで結線します。ネットワークハブなどを経由する場合、セットアップ用のパソコンと複数の本製品が同時接続にならないよう注意してください。

本製品の eLAN の位置は、「2.1.3 ノード背面」を参照してください。

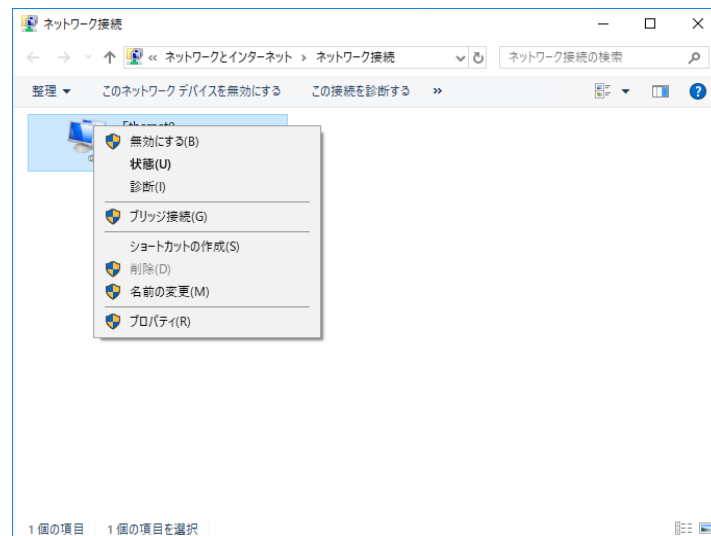
セットアップ用のパソコンに対して以下の手順でネットワーク設定を行ってください。

(1) セットアップ用パソコンの OS が Windows 10 の時の手順

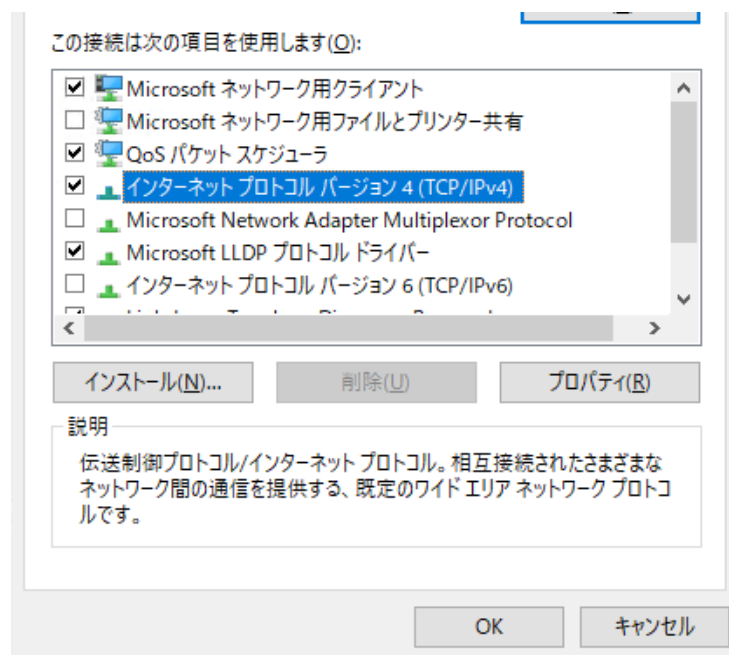
以下の手順で、**ユーザー アカウント**制御画面が表示された場合は、**続行(C)**をクリックして継続してください。

1. セットアップ用のパソコンのスタートメニューから、**Windows システム ツールのコントロール パネル**をクリックしてください。
2. **コントロールパネル**のメニューから**ネットワークと共有センター**、または**ネットワークの状態とタスクの表示**をクリックしてください。
3. **ネットワークと共有センター**のメニューから**アダプタ設定の変更**をクリックしてください。

4. 対象のネットワークにマウスカursorを合わせて右クリックし、**プロパティ(R)**をクリックしてください。



5. **インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)** を選択し、**プロパティ(R)**をクリックしてください。



6. IP アドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイを以下のように設定し、**OK** をクリックして設定を完了してください。

IP アドレス : 192.168.1.1

ネットマスク : 255.255.255.0 (固定値)

デフォルトゲートウェイ : 設定しない

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

☐ IP アドレスを自動的に取得する(O)

☒ 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 1 . 1

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): | . . .

☐ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

☒ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): . . .

代替 DNS サーバー(A): . . .

☐ 終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

4.4. 予約ネットワーク「169.254.0.0/16」の変更（必要な場合のみ）

本製品では「169.254.0.0/16」のネットワークをシステムで予約しているため、本製品に「169.254.0.0/16」のネットワークを設定することが出来ません。

「169.254.0.0/16」のIPアドレスを設定する場合は、システムで予約しているネットワークを変更する必要があります。



: 予約ネットワークの変更を行うと、本製品内のデータがリセットされます。運用開始後は本手順を実行しないでください。

4.4.1. 予約ネットワークの変更

以下の手順で、予約ネットワークを変更します。

1. ssh を用い本製品にログインします。接続先には、本製品のデフォルト IP アドレス(192.168.1.11)を指定します。ユーザは"sysadmin"を使用します。

2. 領域解放のスケジュールを確認するため、以下のコマンドを実行します。

```
* reclamation job show
```

3. 以下のメッセージが表示されます。

"ID"の列を確認します(下図で四角に囲った部分)。

```
Reclamation Job Information
-----
ID   Status  Frequency  StartTime  MD(min)  Day  Exp-Time  Thro
-----
01  enable  Weekly    14:00      360      mon  20:00     50 %
02  enable  Weekly    14:00      360      wed  20:00     50 %
03  enable  Weekly    14:00      360      fri  20:00     50 %
-----
ExitStatus:0
```

4. 領域解放のスケジュールをすべて無効にするため、以下のコマンドを実行します。
"id"のパラメータは3の手順で確認した"ID"を入力します。

```
* reclamation job disable id=1,2,3
```

5. 以下のメッセージが表示されます。"yes"を入力します。

```
Specified Job
-----
ID   Status  Frequency  StartTime  MD(min)  Day  Exp-Time  Thro
-----
01  enable   Weekly    14:00      360      mon  20:00     50 %
02  enable   Weekly    14:00      360      wed  20:00     50 %
03  enable   Weekly    14:00      360      fri  20:00     50 %
-----
Reclamation Job (ID=1 2 3) will be disabled.
Are you sure? yes/no:
```

6. 領域解放のスケジュールが無効になっていることを確認するため、以下のコマンドを実行します。

```
* reclamation job show
```

7. 以下のメッセージが表示されます。
"Status"列が全て"disable"になっていることを確認します。

```
Reclamation Job Information
-----
ID   Status  Frequency  StartTime  MD(min)  Day  Exp-Time  Thro
-----
01  disable Weekly    14:00      360      mon  20:00     50 %
02  disable Weekly    14:00      360      wed  20:00     50 %
03  disable Weekly    14:00      360      fri  20:00     50 %
-----
ExitStatus:0
```

領域解放のスケジュールが無効になっている場合は"Status"列が"disable"と表示されます。

"Status"列に"enable"の表示がある場合は、"enable"と表示されている"ID"をパラメータとして4の手順を再度実行します。

8. 領域解放処理の実行状態を確認するため、以下のコマンドを実行します。

```
* reclamation status show
```

9. 以下のメッセージが表示されます。

"Status"と"Shredding"の行が"Not_Running"であることを確認します。

```
Reclamation Progress Status
-----
Status                Not_Running
Remaining_time(min)    3
Shredding              Not_Running
-----
ExitStatus:0
```

"Status"と"Shredding"の行が"Not_Running"の場合、11の手順に進みます。
それ以外の場合10の手順に進みます。



CAUTION

領域解放中に内部 IP アドレス変換または、内部 IP アドレス変換中に領域解放が実行されるとシステムの設定情報に食違いが発生するため、必ず"Status"と"Shredding"の行が"Not_Running"であることを確認します。

10. 領域解放処理をキャンセルするため、以下のコマンドを実行します。

```
* reclamation cancel
```

実行後 5 分ほど待ってから 8, 9 の手順を実行し、領域解放処理が停止していることを確認します。

11. 新しいアドレス体系に応じて、以下のコマンドを実行します。

<169.254.n.xx に変更する場合>

```
# ipchange start value=1
```

<191.255.n.xx に変更する場合>

```
# ipchange start value=2
```

<172.23.n.xx に変更する場合>

```
# ipchange start value=3
```

<任意のネットワークアドレス(第2オクテットまで)に変更する場合>

(例: 111.22.n.xx に変更する場合)

```
# ipchange start value=4 ip=111.22.
```

上記コマンドを実行後、以下のメッセージが表示されます(例: 169.254. → 191.255.). IP アドレス体系が合っていれば "yes"を入力します。意図したものと違っている場合は、"no"を入力して再度コマンドを実行します。

```
The reserved/internal internal IP Address of this system is about to
change 191.255.abc.xyz
Are you sure? yes/no
```

変換処理を実行して、約 10 分経過した後に自動的に再起動が実行されます。再起動してから、約 30 分後に変換処理は終了します。

本処理は再起動を含んでいるため、ssh の接続が切断されます。



: もし誤ったアドレス体系を指定してしまった場合は、1 2、1 3、1 4 の手順で変換処理が完了していることを確認してから、再度 1 1 の手順から実行します。

- 1 2. ssh を用い変更後の IP アドレスを指定してログインします。ユーザ名は "sysadmin" を使用します。

- 1 3. 内部 IP 変換の実行状態を確認するため、以下のコマンドを実行します。

```
* ipchange status show
```

- 1 4. 以下のメッセージが表示されたときは、数分待った後に再び上記のコマンドを実行します。

```
This system is changing the reserved/internal IP address.  
Wait for minutes.
```

以下のメッセージが表示されたときは、一旦ログアウトして数分待った後に再びログインしてから上記のコマンドを実行します。

```
This login session invalid.  
Another account took precedence over the session.
```

以下のメッセージが表示されれば内部 IP アドレスの変換は完了です (例: 169.254. → 191.255.).

```
This system changed the reserved/internal IP address from  
169.254.abc.xyz to 191.255.abc.xyz
```

以下のメッセージが表示されたときは問題が発生しています。

```
Error.
```

以下のログを採取して開発部門に連絡願います。

```
/var/log/HYDRAsstor/miachtl.log  
/root/hydra_setup/stage2/stage2.log  
/root/hydra_setup/stage3/stage3.log
```

- 1 5. 領域解放のスケジュールをすべて有効にするため、以下のコマンドを実行します。"id"のパラメータは3の手順で確認した"ID"を入力します。

```
* reclamation job enable id=1,2,3
```

1 6. 以下のメッセージが表示されます。

"yes"を入力します。

```
Specified Job
-----
ID   Status  Frequency  StartTime  MD(min)  Day  Exp-Time  Thro
-----
01  disable  Weekly    14:00      360      mon  20:00     50 %
02  disable  Weekly    14:00      360      wed  20:00     50 %
03  disable  Weekly    14:00      360      fri  20:00     50 %
-----
Reclamation Job (ID=1 2 3) will be enabled.
Are you sure? yes/no:
```

1 7. 領域解放のスケジュールを確認するため、以下のコマンドを実行します。

```
* reclamation job show
```

1 8. 以下のメッセージが表示されます。

```
Reclamation Job Information
-----
ID   Status  Frequency  StartTime  MD(min)  Day  Exp-Time  Thro
-----
01  enable  Weekly    14:00      360      mon  20:00     50 %
02  enable  Weekly    14:00      360      wed  20:00     50 %
03  enable  Weekly    14:00      360      fri  20:00     50 %
-----
ExitStatus:0
```

領域解放のスケジュールが有効になっている場合、"Status"列が"enable"と表示されます。

すべての領域解放のスケジュールを有効にしたら本手順は完了となります。

1 9. ログアウトして、コマンドプロンプトを閉じます。

```
# exit
```

4.5. 本製品のセットアップ

初期設定ウィザードでセットアップを行います。詳細な手順は、以下をご参照ください。



: 初期設定ウィザードを中断したい場合は、**中止**をクリックしてください。
なお、再度ログインすればセットアップを再開できます。

4.5.1. ブラウザの設定（必要な場合）

Windows Server から Microsoft Edge を利用して管理画面（GUI）に接続する場合は、信頼済みサイトに登録する必要があります。

以下の手順に従って、設定してください。

1. Windows のスタートメニューからコントロールパネルをクリックし、インターネットオプションをクリックします。
2. セキュリティタブをクリックします。
3. 信頼済みサイトアイコンを選択します。
4. サイトをクリックします。
5. 信頼されたサイトに GUI のアドレスを追加します。（例：http://192.168.1.11）

4.5.2. 管理ページ(GUI)への接続

以下の手順に従ってログインしてください。

1. ブラウザを立ち上げ、以下のアドレスを入力してください。

<http://192.168.1.11:8585/>



: 電源投入後は GUI にログインできるようになるまで 5 分ほどかかります。



: ブラウザのセキュリティ設定により、ログイン画面が表示されない場合があります。「4.5.1. ブラウザの設定（必要な場合）」を参照して、ブラウザの信頼済みサイトに登録してください。

2. ユーザー名「sysadmin」、パスワードを入力し、**Login** をクリックしてログインしてください。初期パスワードは添付品「iStorage HS GUI のデフォルトパスワード」で確認してください。なお、初期パスワードは本ウィザードで変更します。

4.5.3. 使用許諾の確認

1. ログイン後、初期設定ウィザードの設定概要が表示されます。内容の確認が完了しましたら、**次へ**をクリックして、次の画面へ進んでください。



ようこそ、初期設定ウィザードへ

- 本製品のソフトウェアバージョンは**4.0.0(HS18-10)**です。
- この初期設定ウィザードは下記のステップにより、システム導入に必要な設定をナビゲートします。
- **ソフトウェア使用許諾**
本ソフトウェアを利用するには、使用許諾に同意する必要があります。
- **基本情報**
本システムを利用するための基本情報の設定を行います。
- **ネットワーク**
本システムにアクセスするためのネットワーク設定を行います。
- **ファイルシステム**
ファイルシステムを作成します。本ウィザードを完了後、疎通確認が可能です。
- 詳細な設定を行いたい場合は、基本情報の設定を終了後、再度ログインして設定を行ってください。



2. 使用許諾契約書が表示されます。ここで表示される使用許諾内容を確認してください。問題なければ「はい、同意します。」を選択し、**決定**をクリックしてください。



次の使用許諾契約書に注意深くお読みください。初期設定ウィザードを継続するには、使用許諾契約に同意する必要があります。

No. ISEX70030-1

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様（以下「甲」といいます。）と日本電気株式会社（以下「乙」といいます。）とは、第1条第1項所定の許諾ソフトウェアに関し、次のとおり合意します。

1. 定義

1.1 「許諾ソフトウェア」とは、アプライアンス製品「iStorage HSシリーズ」にプリインストールされた以下のオブジェクト・コード形式のコンピュータ・プログラムをいい、第2項乃至第4項に規定された「HYDRAsstorソフトウェア」、「JREソフトウェア」、「OSSソフトウェア」の一部または全部から構成されます。

許諾ソフトウェア名：iStorage HS基本制御

1.2 「HYDRAsstorソフトウェア」とは、本契約書に添付された表1以外のソフトウェアおよび付属のドキュメントの一部をいいます。別途乙にご連絡いただくことで（ご連絡先E-mail: hydrastor-window@hyg.jp.nec.com）、「HYDRAsstorソフトウェア」に含まれるソフトウェアをご確認いただけます。

1.3 「JREソフトウェア」とは、本契約書に添付された表1の「JREソフトウェア一覧」に記載されたソフトウェアおよび付属のドキュメントをいいます。

1.4 「OSSソフトウェア」とは、本契約書の第1条第2項、第1条第3項以外のソフトウェアおよび付属のドキュメントをいいます。別途乙にご連絡いただくことで（ご連絡先E-mail: hydrastor-window@hyg.jp.nec.com）、「OSSソフトウェア」に含まれるソフトウェアおよび各OSSソフトウェアに適用されるライセンス条件（以下、「OSSライセンス条件」といいます。）の種類をご確認いただけます。

1.5 「HYDRAsstor装置」とは、許諾ソフトウェアが管理および制御する「iStorage HSシリーズ ストレージ装置」をいいます。

1.6 「ノード」とは、HYDRAsstor装置を構成する装置をいいます。

1.7 「CPU」とは、中央処理装置（Central Processing Unit）をいい、同一のノード内にある複数の中央処理装置の集合をさすものとします。

2. 許諾ソフトウェアの使用権許諾条件

2.1 HYDRAsstorソフトウェアに対しては、本契約書の第3条乃至第10条の規定が適用されます。

☐ はい、同意します。

☒ いいえ、同意しません。

中止

決定

4.5.4. 基本情報の設定

ここでは、運用を始めるために必要な初期設定の項目を入力します。

1. 以下の項目を入力してください。

- システム名
- 新パスワード
- タイムゾーン
- システムの時刻
- NTPサーバ

2. 次へをクリックして、次の設定へ進んでください。



: 本セットアップ手順の「4.7. 接続確認」を行なうためにファイルシステムが必要となりますので、ファイルシステム画面で、ファイルシステムを作成してから**入力終了**をクリックしてください。



基本情報	ネットワーク	ファイルシステム	入力確認	設定結果
本システムを利用するための基本情報の設定を行います。				
システム名				
システム名		MySystem1		
システム管理者のパスワード設定				
ユーザ名		sysadmin		
新パスワード				
新パスワード (確認)				
日付・時刻				
タイムゾーン		(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京		
システムの時刻		2015 / 08 / 07 23 : 37 : 06		
NTPサーバ		 「システムの時刻」と「NTPサーバ」の両方を設定した場合、優先的にNTPサーバと時刻同期します。		
中止		入力終了 次へ		

4.5.5. ネットワークの設定

ここでは、ネットワークの設定項目を入力します。



: 本製品にはポートが6つ（elan1～elan6）ありますが、初期設定ウィザードでは elan1 のみ設定可能です。

1. 以下の項目を入力してください。

- IP アドレス
- ネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNS サーバ
- 検索ドメイン

2. 次へをクリックして、次の設定へ進んでください。



: 本セットアップ手順の「4.7. 接続確認」を行なうためにファイルシステムが必要となりますので、ファイルシステム画面で、ファイルシステムを作成してから入力終了をクリックしてください。



基本情報	ネットワーク	ファイルシステム	入力確認	設定結果
本システムにアクセスするためのネットワーク設定を行います。 IPアドレスを誤って設定した場合、本システムにアクセスできなくなります。 システムにアクセスできなくなってしまう場合、IPアドレスの設定を間違えた場合の手順に従って復旧してください。				
ポート設定				
使用ポート	elan1			
IPアドレス	192.168.86.119			
ネットマスク	255.255.255.0			
デフォルトゲートウェイ	192.168.86.1			
その他設定				
DNSサーバ				
検索ドメイン				
戻る		中止		
		入力終了 次へ		

4.5.6. ファイルシステムの作成

ここでは、接続確認をするためのファイルシステムを作成します。

1. 作成するファイルシステムのチェックボックスを選択してください。
ファイルシステム名を変更することが可能です。
2. 入力終了をクリックして、入力確認画面へ進んでください。



基本情報 ネットワーク **ファイルシステム** 入力確認 設定結果

ファイルシステムを作成します。本ウィザードを完了後に疎通確認が可能です。
圧縮率を高めるマージンフィルタリング機能、WORM機能などのファイルシステム関連の設定を利用する場合は、ウィザード終了後に新しいファイルシステムを作成する必要があります。

ファイルシステム作成

☐ CIFSファイルシステムを作成します (Windowsマシン向け)

ファイルシステム名

エクスポート名 CIFS_FS

注意: CIFSアクセス制御が設定されていない場合、ワークグループ認証方式を設定します。
既に設定されている場合、ウィザード終了後にCIFSアクセス制御画面で設定内容を確認してください。

☐ NFSファイルシステムを作成します (UNIX系マシン向け)

ファイルシステム名

エクスポート名 /export/NFS_FS

戻る 中止 入力終了

4.5.7. 設定の確認・反映

今まで入力した設定の確認とシステムへの設定反映を行います。

1. 入力した項目に不足、誤りがないことを最終確認してください。
2. 問題がなければ、設定をクリックしてください。



基本情報 ネットワーク ファイルシステム **入力確認** 設定結果

設定内容を確認してください。設定に誤りがない場合「設定」をクリックしてください。
修正をする場合は各項目をクリックしてください。

設定内容

基本情報	- システム名: HYDRAsstor1 - 新パスワード: 変更無し - タイムゾーン: 東京 (標準時) - システムの時刻: 2010/11/02 11:47:51 - NTPサーバ:
ネットワーク	- 使用ポート: elan1 - IPアドレス: 192.168.86.119 - ネットマスク: 255.255.255.0 - デフォルトゲートウェイ: 192.168.86.1 - DNSサーバ: - 検索ドメイン:
ファイルシステム	- エクスポートタイプ: NFS - ファイルシステム名: NFS_FS - エクスポート名: /export/NFS_FS - エクスポートタイプ: CIFS - ファイルシステム名: CIFS_FS - エクスポート名: CIFS_FS

◀ 戻る × 中止 設定

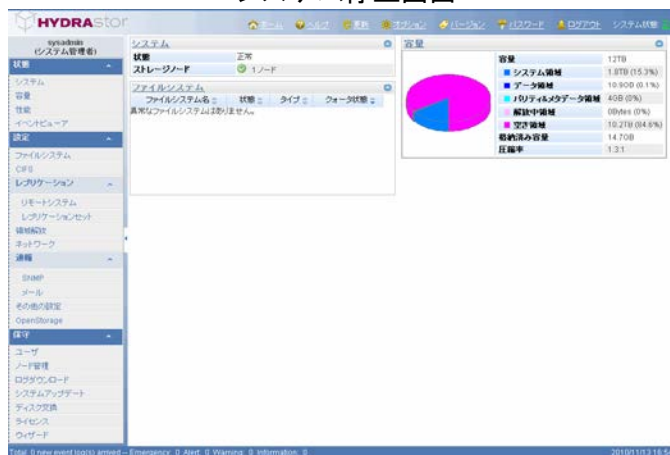
3. 設定結果画面が表示されますので、画面の指示にしたがい先へ進んでください。
入力内容に応じて、以下のいずれかの画面が表示されます。

- システム停止画面
- ホーム画面
- 自動的にログアウトし、ログイン画面が表示

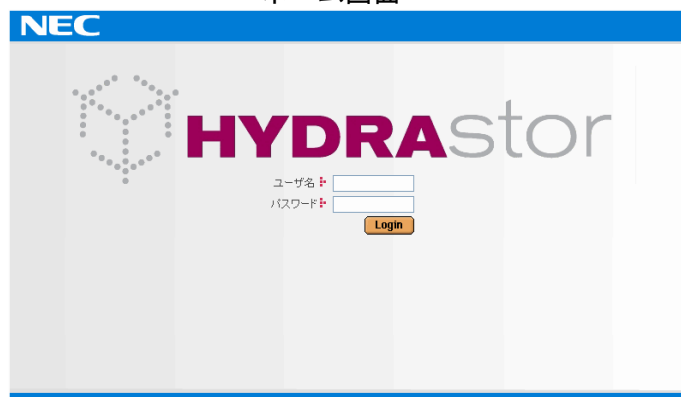
「システム停止画面」では、表示の完了を待ち合わせて、次へ進んでください。
なお、それ以外の画面では、待ち合わせは不要です。



システム停止画面



ホーム画面



ログイン画面



: 次回ログイン時から、ホーム画面が表示されます。初期設定ウィザードは、ログイン後に表示されるメインメニューのウィザードをクリックしてください。

4.5.8.パスワード設定

運用管理ソフトウェアに予め組み込まれた、システム管理アカウントと保守アカウントのパスワードをお客様に管理して頂くことで、より安全にシステムが運用できるようになりました。

システム管理アカウントは、「sysadmin」と「logadmin」の2つです。「sysadmin」は、システムの設定、アカウント管理などシステム運用に使用します。保守アカウントは、「vendormnt」、「maintenance」、「support」の3つです。保守の内容により、保守員やフィールドサポート員が利用します。

これら5つのアカウントのパスワードをシステム導入時に設定して適切に管理し、セキュリティリスクに備えてください。特に保守アカウントのパスワードは、保守をご依頼いただくときにお聞きする場合があります。保守作業終了後にパスワードを変更するなど、予め管理方法をご検討ください。

詳細情報や設定、変更方法は「コマンドリファレンス」の「第1編 第1章アカウント」、「ユーザズガイド」の「第3章 ユーザ管理」を参照ください。

4. 6. LAN ケーブルの結線

ユーザ環境に本製品を接続します。

1. 本製品の eLAN1 とセットアップ用のパソコンの結線を外してください。
2. 本製品の eLAN1 とユーザ環境のネットワーク機器（L2 スイッチ等）を結線してください。
3. ユーザ環境上にあるパソコンでブラウザを立ち上げ、アドレス「http://<IP アドレス>:8585/」を入力します。IP アドレスは、「4.5 本製品のセットアップ」で設定した値を入力します。

 **チェック** : 再起動後は GUI にログインできるようになるまで 10 分ほどかかります。

 **チェック** : 「4.5.1. ブラウザの設定（必要な場合）」に Windows Server から GUI にログインする場合の注意事項があります。

4. GUI にログインしてください。ユーザ名は「sysadmin」、パスワードは「4.5 本製品のセットアップ」で設定した値を入力します。
5. ログインできたら、GUI からログアウトしてください。

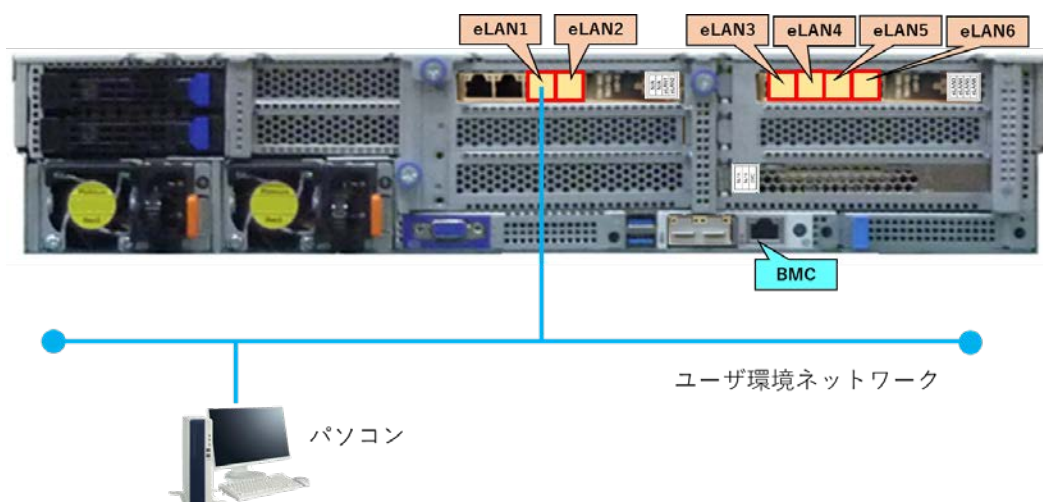


図 4-1 製品背面図 LAN コネクタ

左側の LAN カードは 4 ポートですが、モジュラーカバーが付いている左から 2 ポートは使用できません。カバーを外さないでください。

また、LAN コネクタの位置と管理画面(GUI)に表示されるポート位置を表 4-1 に示します。

表 4-1 GUI に表示されるポート

LAN コネクタの名称	GUI で表示するポート名
eLAN1	elan1
eLAN2	elan2
eLAN3	elan3
eLAN4	elan4
eLAN5	elan5
eLAN6	elan6

4.7. 接続確認

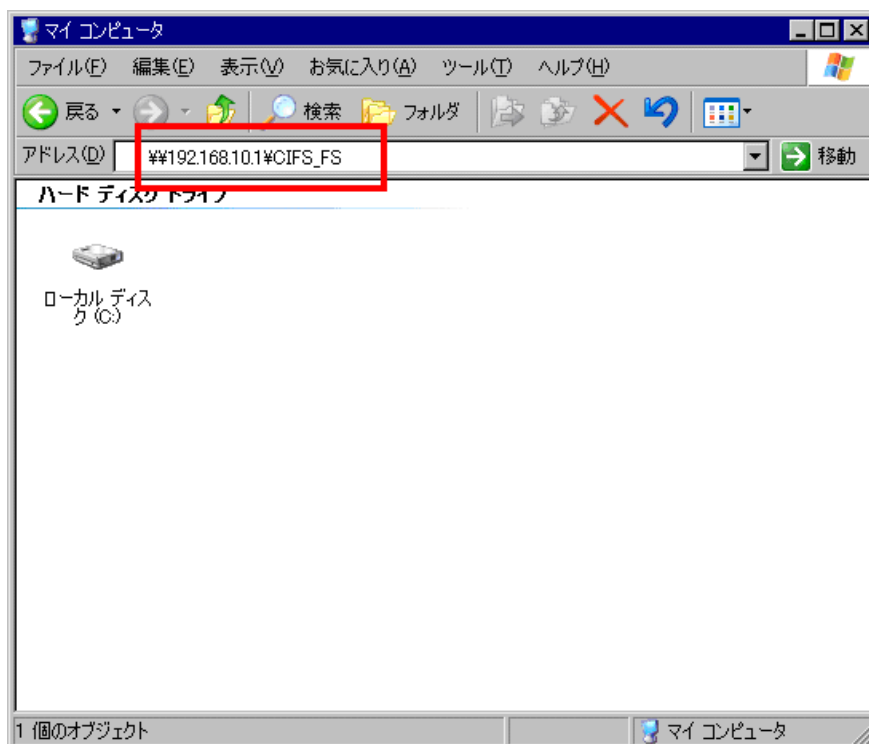
用意したバックアップサーバと本製品との間で接続確認を行ってください。なお、接続確認には、「4.5 本製品のセットアップ」で作成したファイルシステムを使用します。

使用するバックアップサーバの OS により、接続確認方法が異なります。

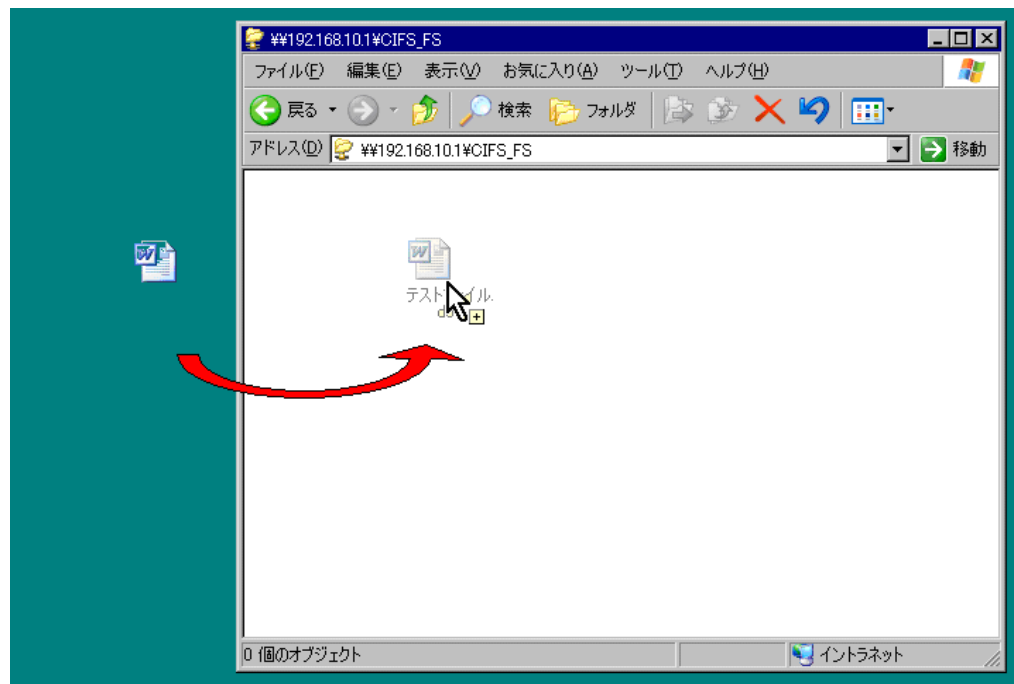
4.7.1. バックアップサーバの OS が Windows 系の場合

バックアップサーバから、以下の手順を実行して接続確認を行ってください（本手順は Windows Server 2003 の手順です。Windows のバージョンや設定により、操作方法が異なる場合があります）。

1. 接続確認用のテストファイルを用意してください。テストファイルは、空ではない適当なファイルを使用してください。
例) 日付を書いた Text ファイル
2. バックアップサーバにログインして、「スタート」メニューから、「マイコンピュータ」を開きます。
3. アドレスバーに、「¥¥<IP アドレス>¥¥<ファイルシステム名>」を入力して Enter キーを押します。IP アドレスとファイルシステム名は、「4.5 本製品のセットアップ」で設定した値を入力します。
たとえば、IP アドレスが「192.168.10.1」、ファイルシステム名が「CIFS_FS」の場合は、アドレスバーに「¥¥192.168.10.1¥¥CIFS_FS」と入力して Enter キーを押します。



4. 手順3で開いた画面にテストファイルをコピーし、書き込めることを確認します。



5. コピーしたファイルをダブルクリックし、テストファイルを開きます。コピー元のファイル内容と照らし合わせて、コピーしたファイルの内容が一致することを確認します。
6. 最後に接続確認に使用したファイルを削除してください。

4.7.2. バックアップサーバの OS が UNIX 系の場合

バックアップサーバから、以下の手順を実行して接続確認を行ってください（本手順は RHEL4 の手順です。その他の OS やバージョンにより、操作方法が異なる場合があります）。

1. 接続確認用のパソコンにログインしてディレクトリを作成します。

```
# mkdir -p /mnt/test
```

2. 「初期設定ウィザード」で作成したファイルシステムをマウントしてください。IP アドレスとファイルシステム名は、「4.5 本製品のセットアップ」で設定した値を入力します。

```
# mount <IP アドレス>:/export/<ファイルシステム名> /mnt/test
```



：上記は接続確認用のマウントであり、性能を向上させるためには mount コマンドのオプションを指定してマウントする必要があります。「ユーザーズガイド」の「NFS を使用してエクスポートしたファイルシステムをマウントする」に実行イメージを記載しています。

3. ファイルシステムをマウントした後に、以下を実行してください。本日の日付と時刻が表示されれば、問題ありません。

```
# date > /mnt/test/file  
# cat /mnt/test/file
```

4. 最後に接続確認に使用したディレクトリ、ファイルを削除してください。

```
# rm /mnt/test/file  
# umount /mnt/test  
# rm -r /mnt/test
```

4.8. バックアップの開始

バックアップソフトウェアを使用し、バックアップを開始してください。作成したファイルシステムをバックアップ先として指定してください。

詳細なバックアップ開始手順については、各バックアップソフトウェア製品のマニュアルを参照してください。

4.9. PP・サポートサービス登録

PP・サポートサービスを契約または購入していただくことにより、本サービスが利用可能となります。詳細に関しては、製品添付品の「サポートサービスのご案内」をご確認ください。

5. 基本操作方法

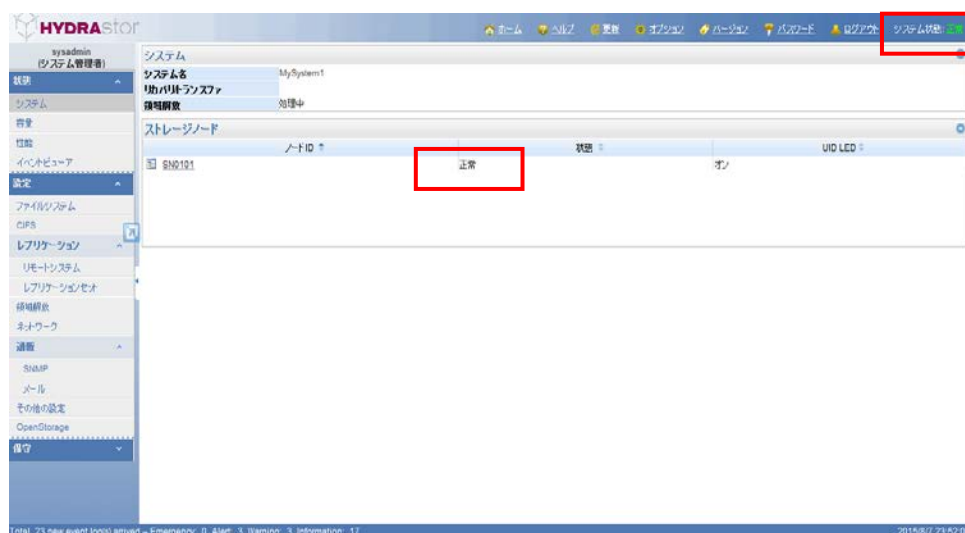
5.1. 基本操作方法

5.1.1. 動作状態の確認

本製品が正常に起動しているかを確認するために、以下の手順を行ってください。

1. 付録 B を参照して、ノードのシステムステータス LED の状態が正常であることを確認してください。
2. GUI を起動して、メインメニューの**システム**をクリックします。
3. システム状態、ノードの状態が「正常」であることを確認してください。

※2,3 の詳細については、「ユーザズガイド」の「第 6 章 システムの操作と状態の監視」を参照してください。



5.1.2. 電源の切断

本製品を終了する場合、GUI を起動して以下の手順で操作を行ってください。

1. メインメニューで**ノード管理**をクリックします。
2. **ノード管理**画面で、**システム停止**をクリックすると自動でシステムが停止します。詳細については、「ユーザーズガイド」の「第6システムの操作と状態の監視」をご参照ください。

システム		
システム名	ノードID	状態
HYDRAsor1	SN0101	正常
① システム停止 ② システム再起動 ③ メモリダンプを実行して再起動		

3. システム停止後、前面のパワーLED が消灯していることを確認してください。

5.1.3. システムの再起動

本製品を再起動する場合、GUI を起動して以下の手順で操作を行ってください。

1. メインメニューで**ノード管理**をクリックします。
2. **ノード管理**画面で**システム再起動**をクリックします。詳細については、「ユーザーズガイド」の「第6章 システムの操作と状態の監視」をご参照ください。

システム		
システム名	ノードID	状態
HYDRAsor1	SN0101	正常
① システム停止 ② システム再起動 ③ メモリダンプを実行して再起動		

5.1.4. ログのダウンロード

本製品のログをダウンロードする場合、GUI を起動して以下の手順で操作を行ってください。

1. メインメニューで**ログダウンロード**をクリックします。
2. **ログダウンロード**画面で**ダウンロード**をクリックし、概要ログをダウンロードします。詳細については、「**ユーザズガイド**」の「**第 6 章 システムの操作と状態の監視**」をご参照ください。



：ブラウザの設定によっては、ログがダウンロードできない場合があります。「ユーザズガイド」の「第 2 章 グラフィカルユーザインタフェース(GUI)の概要」の「ブラウザを設定する」を参照して、ブラウザの設定を行ってください。

5.2. ソフトウェアのアップデート

PP・サポートサービスを契約または購入している場合、新機能の追加されたソフトウェアや不具合の修正されたソフトウェアを入手して、本製品をアップデートすることができます。



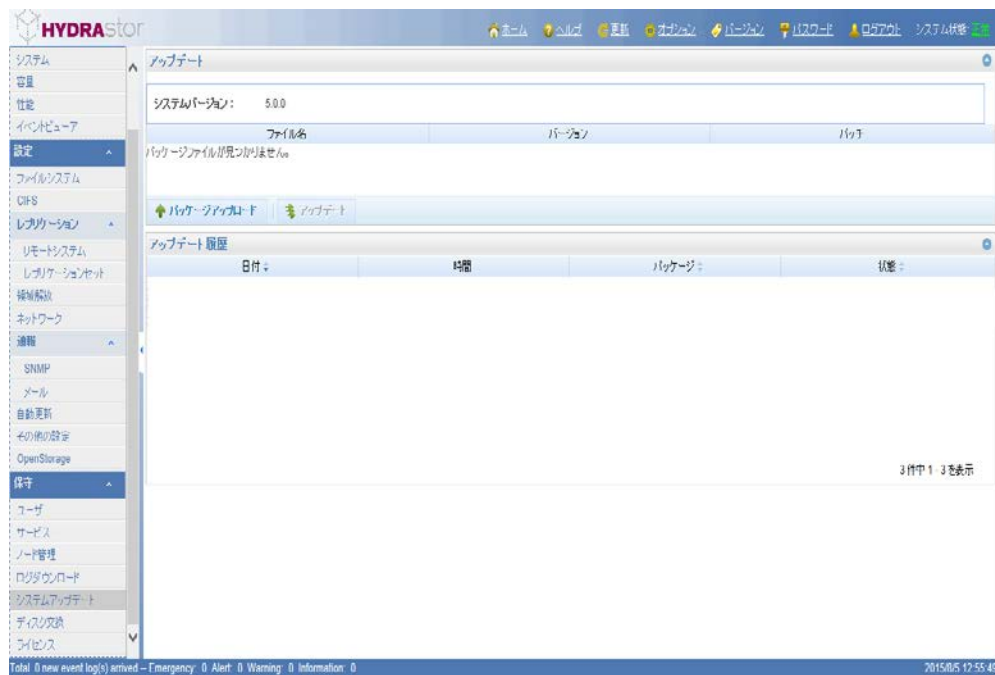
：ソフトウェアのアップデートは、本製品の再起動を伴います。

1. ブラウザを立ち上げ、サポート契約者向け Web サイト(NEC 統合サポート Web)へ接続し、アップデート用ソフトウェアを入手します。



：アップデートソフトウェアを入手するには、PP・サポートサービスへの登録が必要です。詳細は、製品添付品の「サポートサービスのご案内」をご確認ください。

2. 本製品の GUI にログイン後、メインメニューからシステムアップデートをクリックして、システムアップデート画面を開きます。



3. システムアップデート画面で、**パッケージアップロード**をクリックします。
4. ポップアップの**参照**をクリックし、手順 1 で入手したアップデート用ソフトウェアを選択し、**アップロード**をクリックします。
5. システムアップデート画面で、**アップデート**をクリックします。
6. アップデートの内容を確認し、**開始**をクリックします。アップデートが開始されると、アップデート進捗画面が表示されます。
7. アップデートが完了すると、「アップデートに成功しました。」と表示されます。

アップデートについての詳細は、「ユーザーズガイド」の「第 6 章 システムの操作と状態の監視」の「システムバージョンをアップグレードする」をご参照ください。

6. 故障および異常時の対処



：本章で交換する故障品の取り外し／取り付けは、本製品について詳しく、専門的な知識を持った保守サービス会社のサービスマンに取り外し／取り付けを行わせるようにして下さい。



：ハードディスクドライブの交換を行う場合には必ず一台ずつ実施してください。実施の際には GUI の交換手順に従ってください。



・発煙や悪臭などの異常が発生した場合、分電盤のブレーカを切断して下さい。ただちに点検・修理を、お買い求めの保守サービス会社へ依頼して下さい。
そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
お客様による修理は危険ですので絶対に行わないで下さい。



・本装置に異常が発生した場合、「5.1.1. 動作状態の確認」を参照して GUI の表示と各ノードのシステムステータス LED 状態の両方を確認してください。修理対応が必要な場合は、保守サービス会社に連絡してください。

6.1. トラブルシューティング

本製品における一般的な問題と、その対処方法を説明します。

【ケース 1】管理画面（GUI）に接続できない

以下の要因が考えられます。要因を取り除き再度確認してください。

- **本製品と正しく LAN ケーブルで接続されていますか？**
LAN ケーブルはカチッと音になるまで挿してください。その後、LAN コネクタの LED が光っていることを確認してください。
- **信頼済みサイトに登録していますか？（Windows Server から Microsoft Edge を利用する場合のみ）**
Windows Server から Microsoft Edge を利用して管理画面（GUI）に接続する場合は、信頼済みサイトに登録する必要があります。「4.5.1. ブラウザの設定（必要な場合）」を参照して、ブラウザの設定を行ってください。
- **外部のスイッチ設定は正しいですか？**
ユーザ環境にあるネットワーク機器（L2 スイッチ等）の設定を確認してください。特に、802.3ad を使用している場合は、外部のスイッチにも 802.3ad の設定が必要です。802.3ad の設定方法については、各スイッチ製品のマニュアルをご参照ください。
- **ネットワークの設定は正しいですか？**
アクセス元とアクセス先（本製品）で設定している IP アドレス、ルーティング設定などネットワーク設定が正しいことを確認してください。
また、アクセス元からポート番号 8585、8282 を通過するようになっているかファイアウォール設定を確認してください。

なお、本製品に誤った IP アドレスを設定して、本製品にアクセスできなくなった場合は、IP アドレスをリセットすることが可能です。詳細は「6.1.2. ネットワーク設定のリセット」をご参照ください。

【ケース 2】ログインユーザのパスワードを忘れた

パスワードを忘れてしまって、システム管理者ユーザとして本製品にログインできない場合は、「6.1.1. ログインユーザのパスワードリセット」を参照して「sysadmin」のパスワードをリセットしてください。

【ケース 3】管理画面（GUI）でグラフ情報、ログ等をダウンロードできない

管理画面（GUI）のダウンロード機能を正しく機能させるには、ブラウザオプションを設定する必要があります。詳細は、「ユーザーズガイド」の「第 2 章 グラフィカルユーザインタフェース(GUI)の概要」の「ブラウザを設定する」をご参照ください。

【ケース 4】NTP サーバと同期しない

以下の要因が考えられます。要因を取り除き再度確認してください。

■ **NTP サーバ設定後に、本製品のシステム再起動を実行しましたか？**

NTP サーバ設定後には、システムの再起動を実行する必要があります。詳細は、「ユーザーズガイド」の「第 5 章 システム設定」をご参照ください。

■ **参照する NTP サーバがさらに上位の NTP サーバと同期していますか？**

本製品が参照する NTP サーバの構成によっては、ユーザ環境にある NTP サーバの設定を変更しなければいけない場合があります。詳細は、「構成設計の手引」の「Step 5. NTP サーバの計画」をご参照ください。

この他にも「あれ、故障かな？」と思われる症状が起きたら、保守サービス会社にご相談ください。

6.1.1. ログインユーザのパスワードリセット

以下の手順で、ユーザ「sysadmin」のパスワードを出荷時の初期パスワードに戻し、新しいパスワードを設定できます。

【準備する物】

- モニタコネクタへ接続可能なディスプレイ装置 × 1 台
- USB 接続のキーボード × 1 台

【手順】

1. 本製品にディスプレイ装置とキーボードを接続します。
2. 画面に "SN0101 login:" と表示されているのを確認してください。

```
SN0101 login:
```

キーボードから Alt キー+F6 キーを入力してください。
画面の表示が "SN0101 login:" から "<SN0101>:" 変わります。

```
<SN0101>:
```

3. "start /admin1/system1/textredirectsvc1" を入力し、ENTER キーを押下します。

```
<SN0101>: start /admin1/system1/textredirectsvc1
```

次の表示で、ENTER キーを押下します。

```
Press <ENTER> to start maintenance menu:
```

4. 接続先が正しいかどうか確認してから "yes" を入力し、ENTER キーを押下します。

```
You have connected to the following system:
```

```
System name:      <システム名>
Node ID:          SN0101
System version:   x.x.x(HSxx-xx)
```

```
Is it correct? [type "yes" to continue or <ENTER> to exit]: yes
```



: 本製品を複数台導入している場合は、"System name" と "Node ID" の表示内容を確認し、接続先が正しいかどうか確認します。

5. MAIN MAINTENANCE MENU で "1" を入力し、ENTER キーを押下します。

```
=====
                        MAIN MAINTENANCE MENU
=====
[1] Reset the system configuration
[2] Vendor maintenance
[99] Exit menu

Note: If you did not input anything within 5 minutes, the maintenance
      menu exits automatically.

Enter the number and press <ENTER>: 1
```



: 本メニューでは、入力待ち状態で5分以上入力がなかった場合は、自動的にメニューが終了します。

6. USER MAINTENANCE MENU で "1" を入力し、ENTER キーを押下します。

```
System name: <システム名>                      Node ID: SN0101
System version: x.x.x(HSxx-xx)

-----
                        USER MAINTENANCE MENU
-----
[1] Reset sysadmin password
[2] Reset external IP address
[99] Exit maintenance menu

Note: If you did not input anything within 5 minutes, the maintenance
      menu exits automatically.

Enter the number and press <ENTER>: 1
```



: 本メニューでは、入力待ち状態で5分以上入力がなかった場合は、自動的にメニューが終了します。

7. 表示されている操作が正しいかどうか確認してから "yes" を入力し、ENTER キーを押下します。

```
Resetting sysadmin's password to the default value of the shipment.

Are you sure?[type "yes" to continue or <ENTER> to cancel]: yes
```

8. 処理が終了後、実行結果が "Return Status: 0" であることを確認し、ENTER キーを押下し、USER MAINTENANCE MENU に戻ります。

RESETTING SYSADMIN'S PASSWORD...

Sysadmin's password has successfully reset.

Return Status: 0

Press <ENTER> to return to menu:

処理中に以下のいずれかのメッセージを表示してパスワードのリセットに失敗する場合があります。その場合は、以下の対処方法に記載された内容を参照し対処を行ってください。

メッセージ	対処方法
You are not logged-in from the maintenance port.	sysadmin のパスワードリセットを BMC 以外から実行しようとしています。 本節の手順にしたがってパスワードのリセットを行ってください。
Operation locked by CLI. Try again.	本体装置内の別のプログラムが一時的にアカウント関係の処理を行っています。 手順 9 を実行し、1~2 分待った後に再度本手順を実行してください。
Failed to reset the password of sysadmin. Try again. If the problem continues, please contact Technical Support.	sysadmin のパスワードリセット処理に失敗しました。 手順 9 を実行し、1~2 分待った後に再度本手順を実行してください。 何度実行しても本メッセージが表示される場合は、本体装置の異常が考えられますので、保守サービス会社にご相談ください。

9. USER MAINTENANCE MENU で "99" を入力し、ENTER キーを押下します。

System name: <システム名>

Node ID: SN0101

System version: x.x.x(HSxx-xx)

USER MAINTENANCE MENU

- [1] Reset sysadmin password
- [2] Reset external IP address
- [99] Exit maintenance menu

Note: If you did not input anything within 5 minutes, the maintenance menu exits automatically.

Enter the number and press <ENTER>: 99

EXITING MAINTENANCE MENU...

1 0. メニュー終了後、"<SN0101>:" が表示されます。

<SN0101>:

キーボードから Alt キー+F1 キーを入力してください。
表示が "<SN0101>:" から "SN0101 login:" に戻ります。

SN0101 login:

- 1 1. 以上で sysadmin パスワードの設定のリセットが完了しました。sysadmin パスワードの設定はリセットされて、出荷時の初期パスワードに戻っています。
接続したディスプレイ装置とキーボードを取り外してください。



: 初期パスワードは添付品「iStorage HS GUI のデフォルトパスワード」で確認してください。

- 1 2. 「4.3. セットアップ用のパソコンの設定・接続」を参照し、セットアップ用のパソコンを接続します。

- 1 3. Web ブラウザを立ち上げ、ログイン画面を表示します。
詳細は、「ユーザズガイド」の「第 2 章 グラフィカルユーザインタフェース(GUI)の概要」をご参照ください。

- 1 4. ユーザ名「sysadmin」、パスワードを入力し、Login をクリックしてログインしてください。

- 1 5. リセットされたパスワードを変更します。
詳細は、「ユーザズガイド」の「第 3 章 ユーザ管理」の「ユーザのパスワードを変更する」をご参照ください。

6.1.2. ネットワーク設定のリセット

以下の手順で、本製品の IP アドレスを出荷時の値に戻し、再度 IP アドレスを設定することができます。

【準備する物】

- モニタコネクタへ接続可能なディスプレイ装置 × 1 台
- USB 接続のキーボード × 1 台

【手順】

1. eLAN1 の LAN ケーブルを抜いてください。
eLAN1 の位置は、「4.6. LAN ケーブルの結線」の図 4-1を参照してください。
2. 本製品にディスプレイ装置とキーボードを接続します。
3. 「6.1.1. ログインユーザのパスワードリセット」の手順 2 ～ 5 を実行して、USER MAINTENANCE MENU を表示します。
4. USER MAINTENANCE MENU で "2" を入力し、ENTER キーを押下します。

System name: <システム名>	Node ID: SN0101
System version: x.x.x(HSxx-xx)	

USER MAINTENANCE MENU	

[1] Reset sysadmin password	
[2] Reset external IP address	
[99] Exit maintenance menu	
Note: If you did not input anything within 5 minutes, the maintenance menu exits automatically.	
Enter the number and press <ENTER>: 2	



: 本メニューでは、入力待ち状態で 5 分以上入力がなかった場合は、自動的にメニューが終了します。

5. 表示されている操作が正しいかどうか確認してから "yes" を入力し、ENTER キーを押下します。

Resetting external IP address to the default value of the shipment. Are you sure?[type "yes" to continue or <ENTER> to cancel]: yes
--

6. 処理が終了するまで、2 ～ 3 分ほど時間がかかります。
 処理終了後、実行結果が "Return Status: 0" であることを確認します。
 その後、ENTER キーを押下し、USER MAINTENANCE MENU に戻ります。

```

RESETTING EXTERNAL IP ADDRESS...
It will take a few minutes. Please wait for a while...
elan1:
      IP : 192.168.1.11
      netmask : 255.255.255.0

External IP address has successfully reset.
Return Status: 0
Press <ENTER> to return to menu:
  
```

この処理中に以下のいずれかのメッセージを表示して IP アドレスのリセットに失敗する場合があります。その場合は、対処方法に記載された内容にしたがってください。
 何度実行しても同じメッセージが表示される場合は、保守サービス会社にご相談ください。

メッセージ	対処方法
Failed to stop network service. This error is probably caused by system in a busy. Please retry this process. detail=<数字>	本体装置がビジー状態となっています。 手順 7 を実行し、1～2 分待った後に再度本手順を実行してください。
Failed to stop network service. Please contact the technical support. detail=<数字>	IP アドレスのリセット処理に失敗しました。 手順 7 を実行し、1～2 分待った後に再度本手順を実行してください。
restart network-services failed.	IP アドレスのリセット処理に失敗しました。 手順 7 を実行し、1～2 分待った後に再度本手順を実行してください。
Failed to start network service. This error is probably caused by system in a busy. Please retry this process. detail=<数字>	本体装置がビジー状態となっています。 手順 7 を実行し、1～2 分待った後に再度本手順を実行してください。
Failed to start network service. Please contact the technical support. detail=<数字>	IP アドレスのリセット処理に失敗しました。 手順 7 を実行し、1～2 分待った後に再度本手順を実行してください。
Failed to start network service.	IP アドレスのリセット処理に失敗しました。 手順 7 を実行し、1～2 分待った後に再度本手順を実行してください。

7. USER MAINTENANCE MENU で "99" を入力し、ENTER キーを押下します。

System name: <システム名>	Node ID: SN0101
System version: x.x.x(HSxx-xx)	

USER MAINTENANCE MENU	

[1] Reset sysadmin password	
[2] Reset external IP address	
[99] Exit maintenance menu	
Note: If you did not input anything within 5 minutes, the maintenance menu exits automatically.	
Enter the number and press <ENTER>: 99	
EXITING MAINTENANCE MENU...	

8. メニュー終了後、"<SN0101>:" が表示されます。

<SN0101>:

キーボードから Alt キー+F1 キーを入力してください。
表示が "<SN0101>:" から "SN0101 login:" に戻ります。

SN0101 login:

以上で IP アドレスのリセットが完了しました。
IP アドレスは出荷時の初期値 "192.168.1.11" に設定されています。
出荷時の IP アドレスから変更の必要がない場合は、手順 13 へ移動してください。

9. 「4.3. セットアップ用のパソコンの設定・接続」を参照し、セットアップ用のパソコンを接続します。

10. Web ブラウザを立ち上げ、以下の URL を入力して、ログイン画面を表示します。
<http://192.168.1.11:8585/>

11. ユーザ名「sysadmin」、パスワードを入力し、Login をクリックしてログインしてください。

12. IP アドレスを変更します。
詳細は、ユーザズガイドの「第 5 章 システム設定」の「ノードの外部ネットワーク設定を有効にする」をご参照ください。

13. セットアップ用のパソコンと本製品の eLAN1 に接続している LAN ケーブルを抜いてください。

14. 「4.6. LAN ケーブルの結線」を参照して、本製品をお客様のネットワークに接続し、GUI へログインできることを確認してください。

6.2. 故障・異常時の表示

システムステータス LED と GUI の表示で異常を知らせますので両方を確認する必要があります。「5.1.1 動作状態の確認」の手順で確認することができます。

6.3. お電話をいただく前に

本製品に関する故障や異常で、ご質問やご相談される場合には、お電話いただく前に次の準備をして下さい。

- ・ 故障や異常の状況、ご質問の内容をメモして下さい。
- ・ 「5.1.4 ログのダウンロード」に従ってログ を採取してください。
- ・ ホスト製品に接続している周辺機器の構成と、本製品で使用しているソフトウェアをメモして下さい。
- ・ 本書とホスト装置や接続している周辺機器のマニュアルおよび使用しているソフトウェアのマニュアルを、お手元に用意して下さい。

6.4. ご質問・ご相談窓口

本製品に関するご質問・ご相談は弊社担当営業、お買い求めいただいた販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

6.5. 製品寿命/修理サービス期間

本製品の製品寿命および生産中止後の修理サービス期間は、以下の通りです。

- ・ 製品寿命 : 5 年
- ・ 保守期限 : 製造終了後 5 年間

但し、下記の場合は修理できないことがあります。

- ・ 汚損品、落下品、取り扱い不備による損傷品
- ・ お客様の手を加えた物
- ・ 製品寿命を過ぎた物
- ・ 地震、落雷、火災、などの天災に起因する損傷品、事変等外部要因による損傷品

付録A. 事前準備一覧表

セットアップに必要な準備物を記載しています。

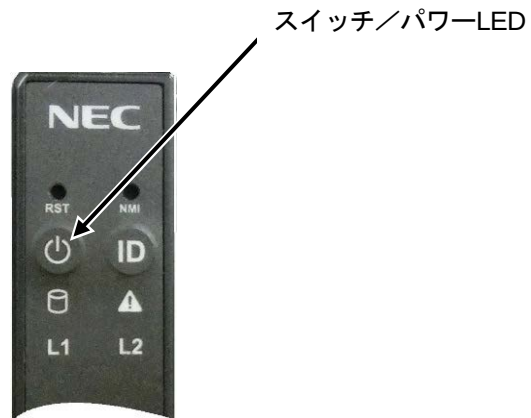
セットアップを実施する前に、以下の表を確認すればスムーズに導入が出来ます。

確認	設定項目	概 要	必須	入 力 値
ハードウェア準備物				
☐	電源×2 系統	電源電圧：100V±10% または、200V±10% 周波数：50/60Hz±3Hz 電源プラグ形状：NEMA 5-15P (AC100V) または、IEC320-C14 (AC200V)	必須	
☐	セットアップ用の パソコン×1 台	必須仕様：LAN ポート(1000BASE-T)×1 ポート 推奨 OS：Windows7 以降 必須ソフト：Microsoft Edge 93 以降	必須	
☐	LAN ケーブル (カテゴリ 5e)×1 本	セットアップ用のパソコンと本製品を接続する ために必要です。	必須	
☐	GUI ログイン確認用の パソコン×1 台 (ユーザ 環境にあるパソコン)	必須ソフト：Microsoft Edge 93 以降	必須	
☐	バックアップサーバ (ユーザ環境にある サーバ)	推奨 OS：Windows Server または UNIX 系 推奨ソフト：バックアップソフトウェア	必須	
ソフトウェア設定項目				
☐	システム名	iStorage HS が2 台以上ある環境で、それぞれの 装置を識別するためにシステム名を入力する ことができます。20 文字以下の半角英数字が使用 可能です。	任意	
☐	ログインユーザの パスワード	ログインユーザの新しいパスワードを入力する 必要があります。 6 文字以上 50 文字以下の半角英数字が使用可能 です。	必須	
☐	タイムゾーン	本製品に設定するタイムゾーンです。	必須	
☐	NTP サーバ	ユーザ環境の NTP サーバと時刻同期を行う場合 は、NTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を 入力してください。	任意	
☐	IP アドレス×1	本製品を使用するために IP アドレスが必要で す。本セットアップでは、IP アドレスを1 つ設 定可能です。なお、IP アドレス等の情報が不明 な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせ ください。	必須	
☐	ネットマスク		必須	
☐	デフォルトゲートウェ イ		任意	
☐	DNS サーバ	NTP サーバでホスト名を入力する場合は、DNS サーバの IP アドレス、検索ドメイン名が必要で す。	任意	
☐	検索ドメイン		任意	
☐	CIFS ファイル システム名	セットアップ手順の「4.7. 接続確認」で Windows マシンから接続確認を行う場合は CIFS ファイル システムの名前が必要です。	任意	
☐	NFS ファイル システムの作成	セットアップ手順の「4.7. 接続確認」で UNIX 系マシンから接続確認を行う場合は NFS ファイル システムの名前が必要です。	任意	

付録B. LED表示

1. パワーLED (⏻)

ノードの電源 ON/OFF の状態を示しています。



パワーLEDの状態	意 味
緑色に点灯	装置は電源ON状態です。
消灯	装置は電源OFF状態です。

2. システムステータス LED (⚠)

ノードの起動が完了すると、システムステータス LED は緑色点灯します。ノードが電源 ON 状態で、システムステータス LED が緑色に点滅しているときや、アンバー色に点灯または点滅しているときは、ノードのハードウェアに何らかの異常が起きていることを示します。

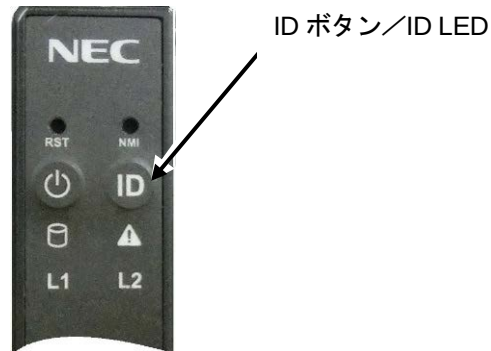


システムステータスLED

システムステータス LEDの状態	意 味	対処方法
アンバー色点灯	ノードのハードウェアに異常を検出しました。	ノードの内部ファンのケーブルが確実に接続されているか確認してください。
アンバー色点滅		ノードの内部ファンにチリやホコリが付着していないか確認してください。また、ファンが確実にセットされているか確認してください。 GUIから異常箇所を確認して、保守サービス会社に連絡してください。
緑色点滅	ノードの電源ユニットに異常を検出しました。	ノード背面の電源ユニットを確認してください。 GUIから異常箇所を確認して、保守サービス会社に連絡してください。
緑色点灯	ノードの起動が完了した状態です。	GUIから異常の有無を確認してください。
消灯	ノードが電源OFF状態です。	対処不要
	ノードが電源ON状態の場合、POST中、またはPOSTエラーを検出した状態です。	電源ONしてから15分経過していない場合には、LEDが点灯/点滅するまでお待ちください。
		電源ONしてから15分以上消灯状態の場合には、ノード背面のVGAポートにディスプレイ装置を接続し、表示されているエラーメッセージ等を記録して保守サービス会社に連絡してください。
	NMIボタンが押され、メモリダンプ中です。	ダンプが終わるまでお待ちください。

3. ID LED

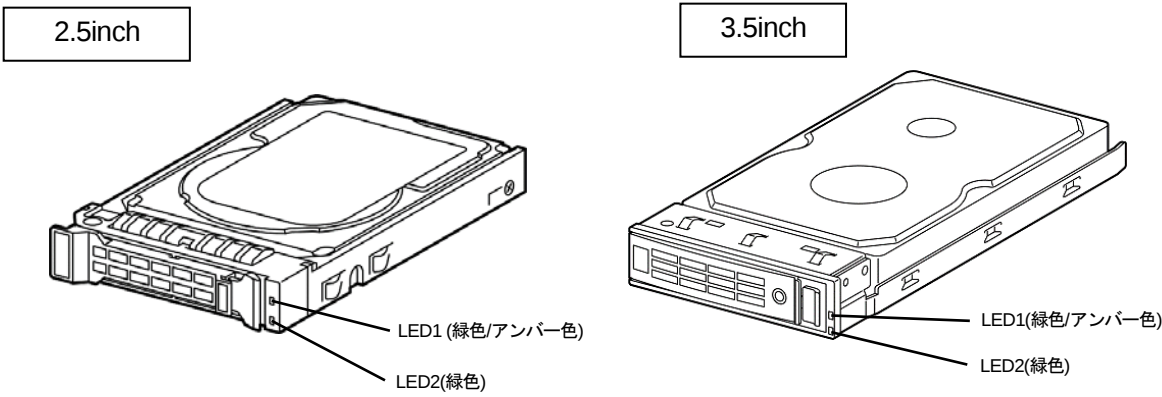
ノードの前面と背面に1個ずつあります。前面または背面にあるIDボタンを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。ラックに搭載された複数の装置の中から、特定のノードを識別したいときに使います。特に、ラック背面からメンテナンスするときは、このLEDを点灯させておくと対象ノードを間違えずに作業できます。



ID LEDの状態	意 味
青色点灯	IDボタンがONの状態です。
消灯	IDボタンがOFFの状態です。

4. ハードディスクドライブのディスクアクセス LED

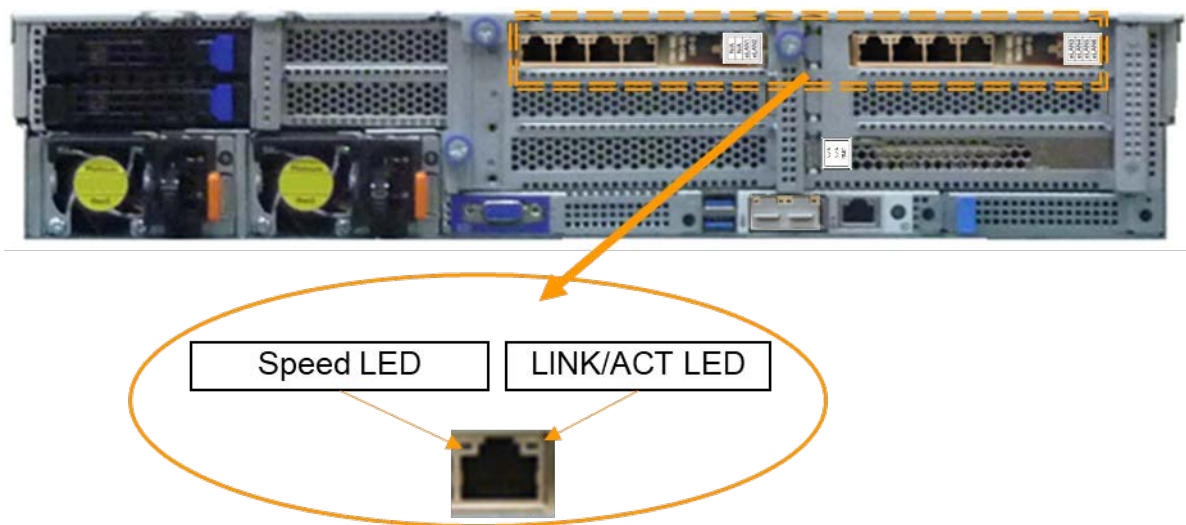
ハードディスクドライブは、ドライブごとにディスクアクセス LED1/2 を備えています。



ディスクアクセスLEDの状態		意 味	対処方法
LED1	LED2		
アンバー色点灯	緑色点灯	当該ディスクに異常を検出しました。	GUIから異常箇所を確認して、保守サービス会社に連絡してください。
緑色/アンバー色の交互点滅		当該ディスクはリビルド中です。	GUIから異常の有無を確認してください。
緑色点滅		当該ディスクはアクセス中またはリビルド中です。	
消灯		当該ディスクはアクセス待機状態です。	
消灯	消灯	当該ディスクは起動していません(電源OFF状態等)。	ノードが電源ON状態の場合には、GUIから異常箇所を確認して、保守サービス会社に連絡してください。

5. LAN コネクタの LED

LAN コネクタは、それぞれ LINK/ACT LED、SPEED LED を備えています。



LINK/ACT LED (□□)

LAN ポートの状態を表します。

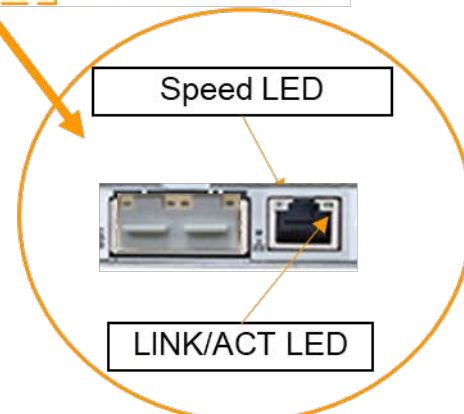
LINK/ACT LEDの状態	意 味
緑色に点灯	ネットワークに正常に接続しています。
緑色に点滅	ネットワークにアクセスしています。
消灯	ネットワークに接続していません。

SPEED LED (□□)

LAN ポートの通信モードが、どの規格で動作しているかを示します。

- LAN (□□) は、1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T をサポートしています。

SPEED LEDの状態	意 味
アンバーに点灯	1000BASE-Tで動作しています。
緑色に点灯	100BASE-TXで動作しています。
消灯	10BASE-Tで動作しています。



LINK/ACT LED (凸凸M)

LAN ポートの状態を表します。

LINK/ACT LEDの状態	意 味
緑色に点灯	ネットワークに正常に接続しています。
緑色に点滅	ネットワークにアクセスしています。
消灯	ネットワークに接続していません。

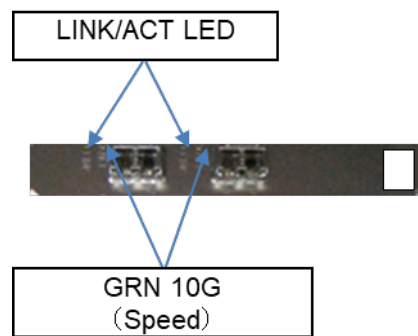
SPEED LED (凸凸M)

LAN ポートの通信モードが、どの規格で動作しているかを示します。

SPEED LEDの状態	意 味
アンバー色に点灯	1000BASE-Tで動作しています。
緑色に点灯	100BASE-TXで動作しています。
消灯	10BASE-Tで動作しています。

10GBASE-SR NIC LED

NF7158-SBT61x/62x または NF7158-SBT61xA/62xA（標準搭載）
NF7158-SY9041（オプション）



LINK/ACT LED ()

LAN ポートの状態を表します。

LINK/ACT LEDの状態	意 味
緑色に点灯	ネットワークに正常に接続しています。
緑色に点滅	ネットワークにアクセスしています。
消灯	ネットワークに接続していません。

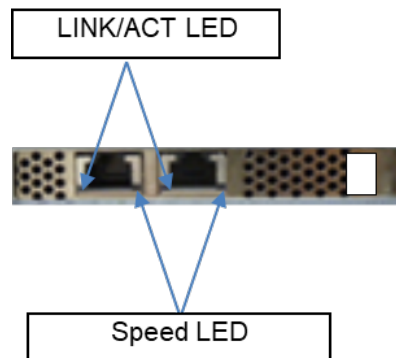
GRN 10G LED ()

LAN ポートの通信モードが、どの規格で動作しているかを示します。

GRN 10G LEDの状態 (SPEED)	意 味
緑色に点灯	10Gbpsでリンクアップ中
消灯	リンクダウンしています。

10GBASE-T NIC LED

NF7158-SBT63x/64x または NF7158-SBT63xA/64xA（標準搭載）
NF7158-SY9042（オプション）



LINK/ACT LED[□](□□)

LAN ポートの状態を表します。

LINK/ACT LEDの状態	意 味
緑色に点灯	ネットワークに正常に接続しています。
緑色に点滅	ネットワークにアクセスしています。
消灯	ネットワークに接続していません。

SPEED LED[□](□□)

LAN ポートの通信モードが、どの規格で動作しているかを示します。

- LAN[□](□□)は、10GBASE-T 、1000BASE-T、100BASE-TX をサポートしています。

SPEED LEDの状態	意 味
緑色に点灯	10GBASE-Tで動作しています。
アンバー色に点灯	1000BASE-Tで動作しています。
消灯	100BASE-TXで動作しています。

6. 電源ユニットの AC パワーLED

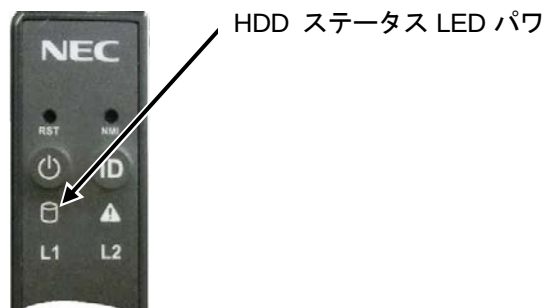
電源ユニットは AC パワーLED を備えています。



ACパワーLEDの状態	意 味	対処方法
アンバー色点灯	当該電源ユニットがACを受電していない、または異常を検出しました。	GUIから異常箇所を確認して、保守サービス会社に連絡してください。
アンバー色点滅	当該電源ユニットに異常を検出しました。	
緑色点灯	当該電源ユニットはACを受電し、電源ONされた状態です。	GUIから異常の有無を確認してください。
緑色点滅	当該電源ユニットはACを受電していますが、電源OFF状態です。	
消灯	両電源ユニットともACを受電していない状態です。	ACケーブル接続を確認してください。

7. HDD ステータス LED (□)

HDD ステータス LED は、HDD #0～13 のハードディスクドライブのディスクアクセス LED1 の状態を総合的に表します。



HDDステータスLEDの状態	意 味	対処方法
アンバー色点灯	HDD #0～#13の各ディスクアクセスLED1の状態の中の優先色を表示します。優先色順はアンバー色点灯→緑色/アンバー色交互点滅→緑色点滅→消灯です。例えば、HDD#0=アンバー色点灯の場合、他のHDD#が緑色/アンバー色交互点滅/や緑色点滅/消灯であってもHDDステータスLED=アンバー色点灯だけ表示します。	アンバー色点灯の場合、各ディスクアクセスLED1/2の状態を確認し、GUIから異常箇所を確認して、保守サービス会社に連絡してください。
緑色/アンバー色交互点滅		
緑色点滅		
消灯		

iStorage HS3-60
バックアップストレージ製品
取扱説明書
2026年 8月 第2版

日 本 電 気 株 式 会 社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

© NEC Corporation 2026

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。